

# 1. 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>)

## (1) 全国の状況

平成 21 年度の二酸化窒素の有効測定局数<sup>1</sup>は、1,774 局（一般環境大気測定局<sup>2</sup>（以下「一般局」という。）: 1,351 局、自動車排出ガス測定局<sup>3</sup>（以下「自排局」という。）: 423 局）であった。

長期的評価による環境基準達成局は、一般局で 1,351 局（100%）、自排局で 405 局（95.7%）となっている。一般局では近年ほとんどすべての有効測定局で環境基準を達成し、自排局では平成 20 年度と比較すると達成率が 0.2 ポイント改善した（図 1 - 1）。なお、環境基準非達成の測定局がある都道府県は（図 1 - 2）のとおりである。

また、年平均値の推移については、一般局、自排局とも近年ゆるやかな改善傾向がみられる（図 1 - 3）。

- 1 有効測定局……年間測定時間が 6,000 時間以上の測定局（光化学オキシダントを除く）
- 2 一般環境大気測定局……一般環境大気の汚染状況を常時監視する測定局。
- 3 自動車排出ガス測定局……自動車走行による排出物質に起因する大気汚染の考えられる交差点、道路及び道路端付近の大気を対象にした汚染状況を常時監視する測定局。

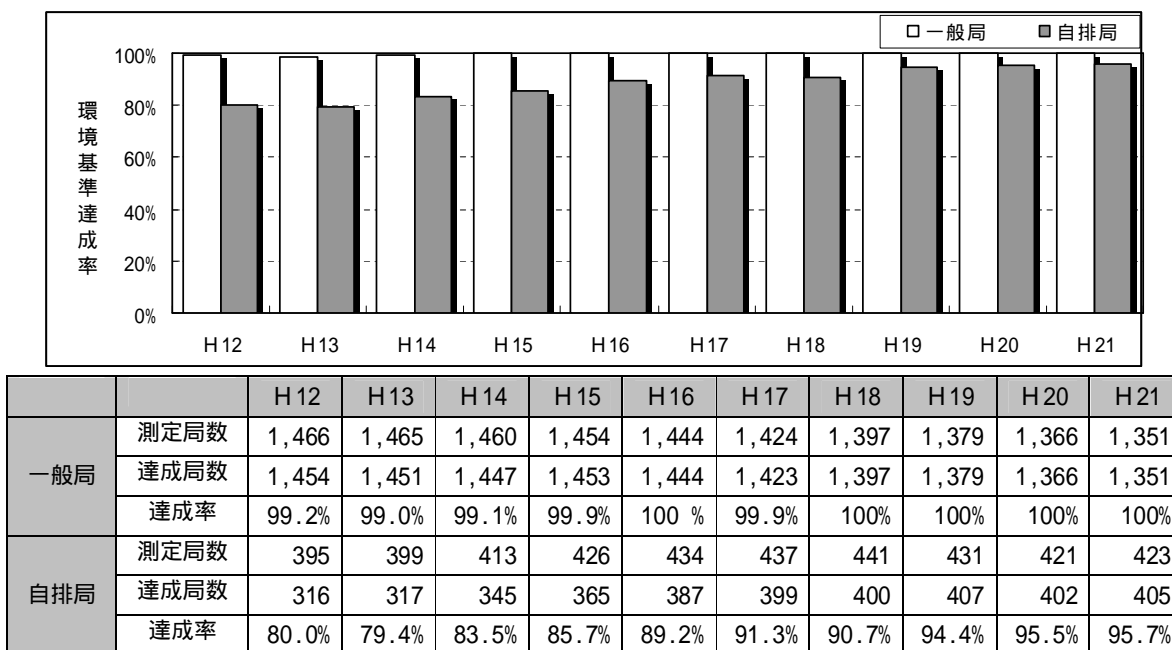


図 1 - 1 二酸化窒素の環境基準達成率の推移

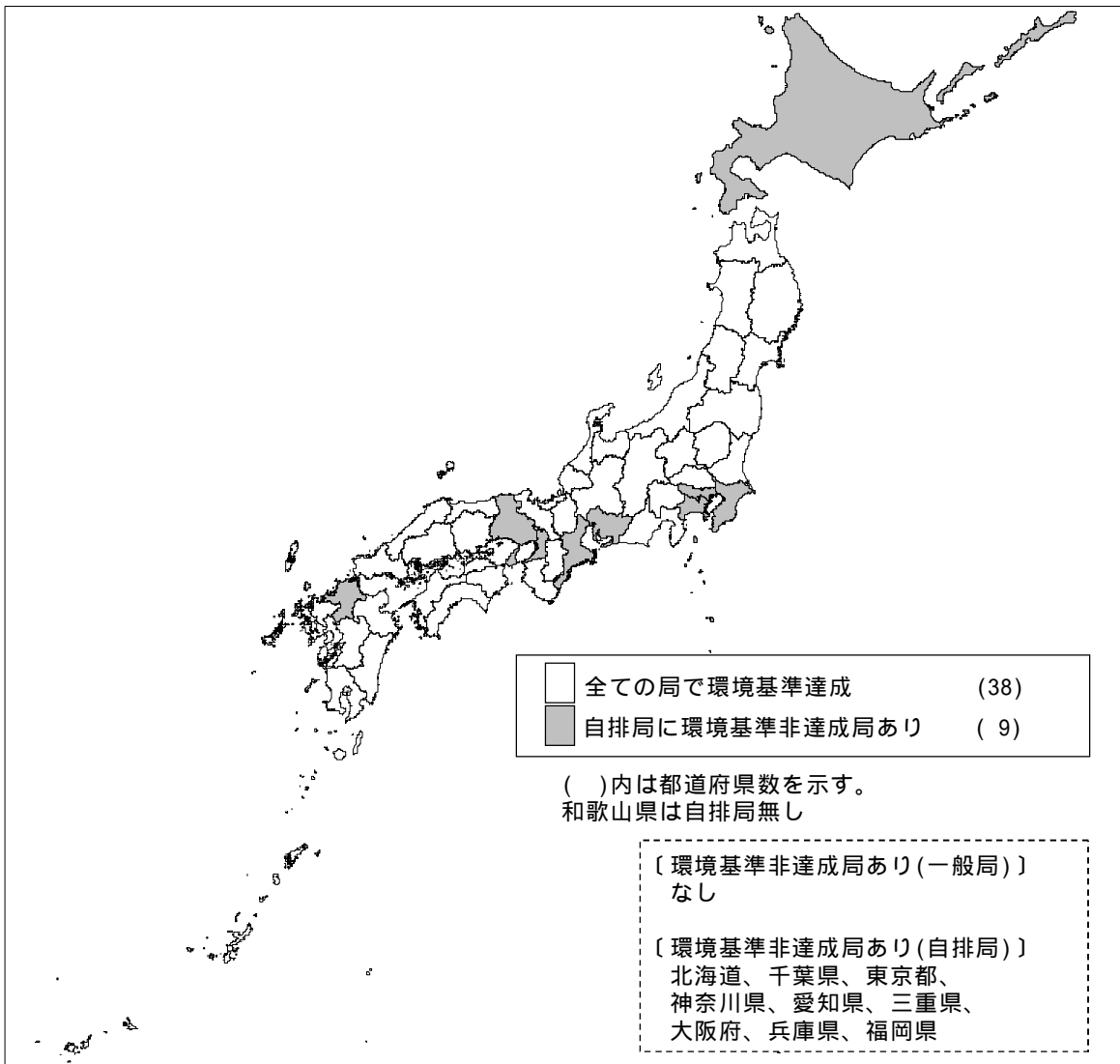
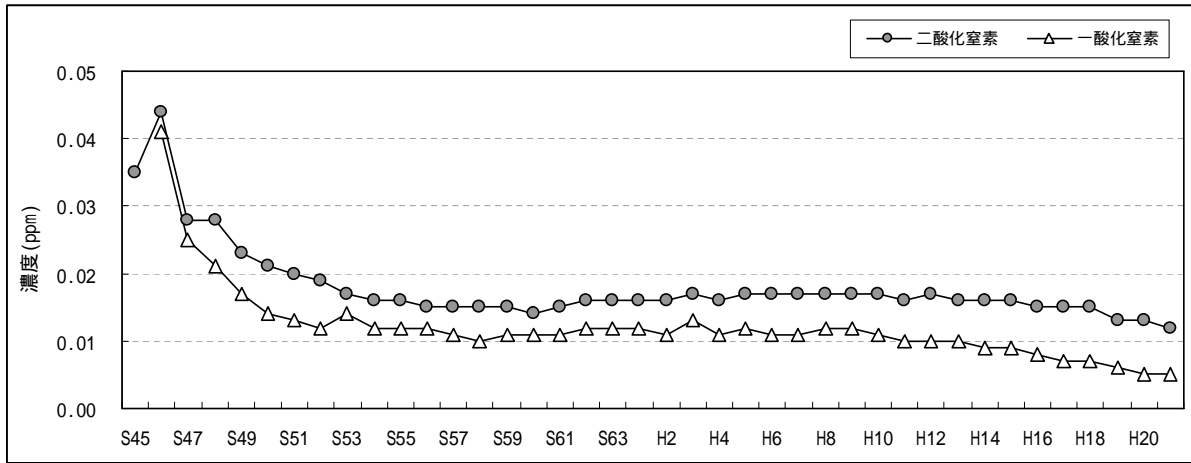


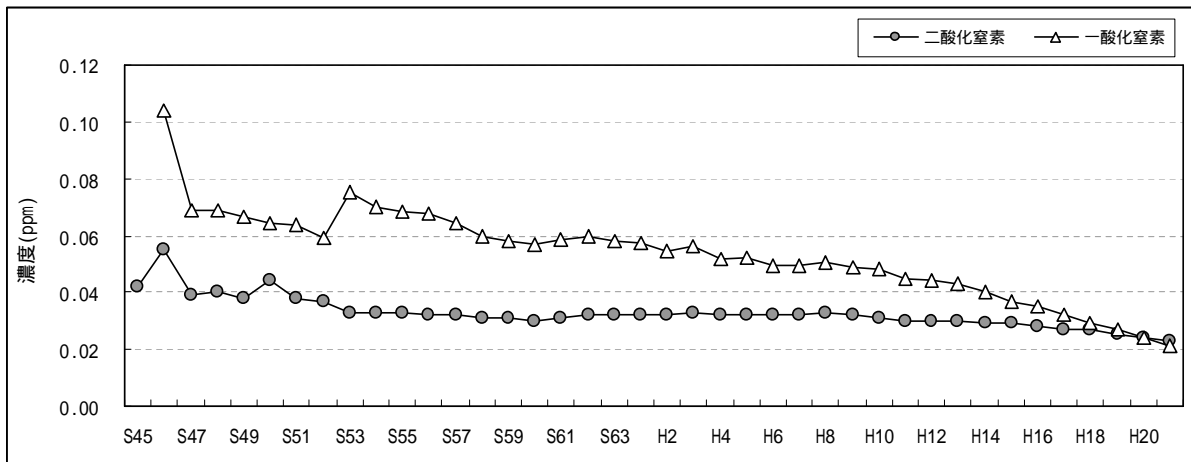
図1 - 2 二酸化窒素の環境基準達成局の分布

(一般局)



	S45	S46	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58
二酸化窒素	0.035	0.044	0.028	0.028	0.023	0.021	0.020	0.019	0.017	0.016	0.016	0.015	0.015	0.015
一酸化窒素	---	0.041	0.025	0.021	0.017	0.014	0.013	0.012	0.014	0.012	0.012	0.012	0.011	0.010
	S59	S60	S61	S62	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9
二酸化窒素	0.015	0.014	0.015	0.016	0.016	0.016	0.016	0.017	0.016	0.017	0.017	0.017	0.017	0.017
一酸化窒素	0.011	0.011	0.011	0.012	0.012	0.012	0.011	0.013	0.011	0.012	0.011	0.011	0.012	0.012
	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21		
二酸化窒素	0.017	0.016	0.017	0.016	0.016	0.016	0.015	0.015	0.015	0.013	0.013	0.012		
一酸化窒素	0.011	0.010	0.010	0.010	0.009	0.009	0.008	0.007	0.007	0.006	0.005	0.005		

(自排局)



	S45	S46	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58
二酸化窒素	0.042	0.055	0.039	0.040	0.038	0.044	0.038	0.037	0.033	0.033	0.033	0.032	0.032	0.031
一酸化窒素	---	0.104	0.069	0.069	0.067	0.065	0.064	0.059	0.075	0.070	0.068	0.068	0.064	0.060
	S59	S60	S61	S62	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9
二酸化窒素	0.031	0.030	0.031	0.032	0.032	0.032	0.032	0.033	0.032	0.032	0.032	0.032	0.033	0.032
一酸化窒素	0.058	0.057	0.059	0.060	0.058	0.057	0.055	0.056	0.052	0.052	0.050	0.050	0.051	0.049
	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21		
二酸化窒素	0.031	0.030	0.030	0.030	0.029	0.029	0.028	0.027	0.027	0.025	0.024	0.023		
一酸化窒素	0.048	0.045	0.044	0.043	0.040	0.037	0.035	0.032	0.029	0.027	0.024	0.021		

図 1 - 3 二酸化窒素及び一酸化窒素濃度の年平均値の推移

## (2) 自動車NOx・PM法<sup>4</sup>の対策地域における状況

平成21年度の対策地域全体での有効測定局数は664局(一般局:438局、自排局:226局)であった。

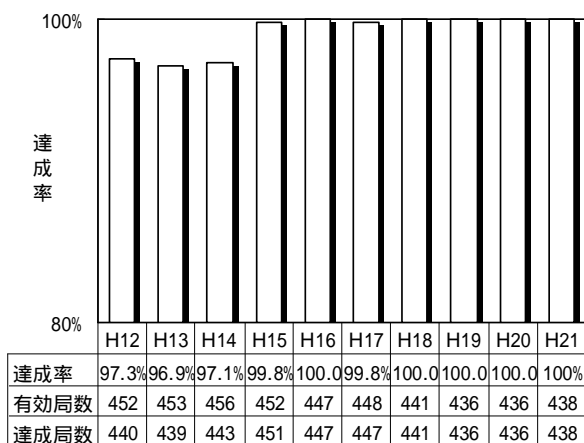
このうち、長期的評価による環境基準達成局は、一般局で438全局(100%)、自排局で210局(92.9%)となっており、一般局ではすべての有効測定局で環境基準を達成し、自排局では平成20年度と比較して達成率が0.9ポイント改善した(図1-4)。

また、対策地域内で過去10年間継続して測定を行っている582の測定局(一般局:402局、自排局:180局)における年平均値は、一般局、自排局とも近年ゆるやかな改善傾向がみられる(図1-5)。(圏域別の環境基準達成率及び年平均値の推移は資料4-4及び資料4-5参照)

4 自動車NOx・PM法…「自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法」の略。

(自動車NOx・PM法の対策地域を有する都府県…埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、三重県、大阪府、兵庫県)

(一般局)



(自排局)

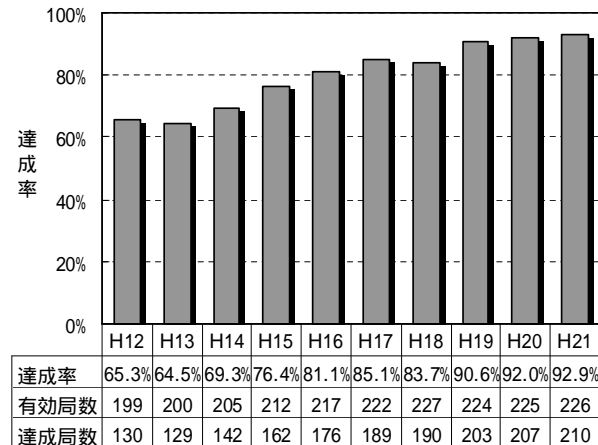


図1-4 自動車NOx・PM法の対策地域における二酸化窒素の環境基準達成率の推移

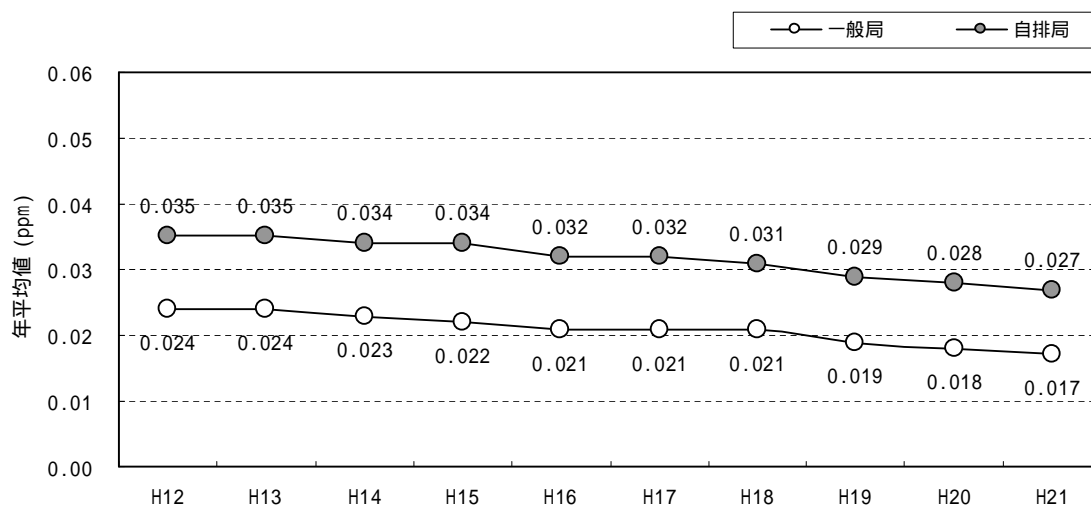


図1-5 自動車NOx・PM法の対策地域における二酸化窒素濃度の年平均値の推移(過去10年間の継続測定局の推移)

## 2. 浮遊粒子状物質 (SPM)

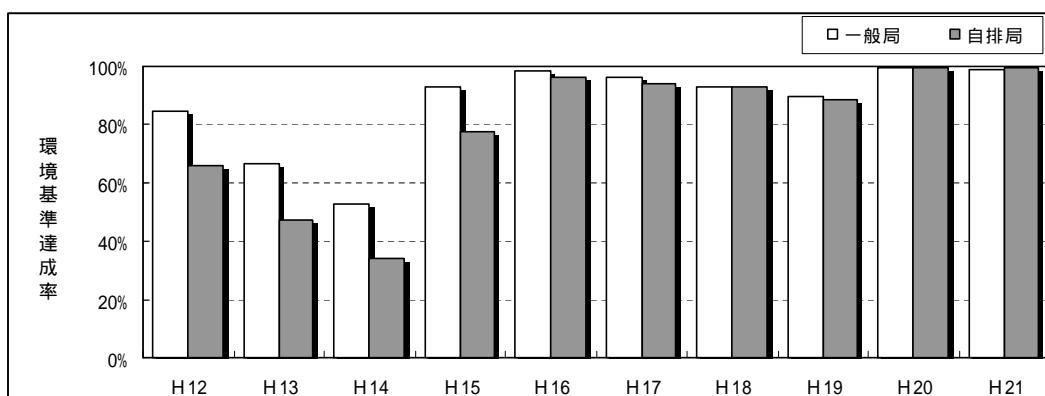
### (1) 全国の状況

平成 21 年度の浮遊粒子状物質の有効測定局数は、1,792 局（一般局：1,386 局、自排局：406 局）であった。

環境基準達成局は、一般局で 1,370 局（98.8%）、自排局で 404 局（99.5%）であり、平成 20 年度と比較して達成率が一般局で 0.8 ポイント低下、自排局で 0.2 ポイント改善した（図 2 - 1）。また、環境基準を超える日が 2 日以上連続することにより非達成となった測定局の割合は、一般局で 1.2%、自排局で 0.5%であり平成 20 年度（一般局:0.4%、自排局:0.7%）と比較して大きな変化はみられなかった（図 2 - 2）。なお、黄砂の観測延べ日数は 179 日であり、平成 20 年度（182 日）とほぼ同程度であった。（黄砂観測日：気象庁HPより）

なお、環境基準非達成局がある都道府県は（図 2 - 3）のとおりである。

一方、年平均値の推移については、一般局、自排局とも近年ゆるやかな改善傾向がみられる（図 2 - 4）。



		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
一般局	測定局数	1,529	1,539	1,538	1,520	1,508	1,480	1,465	1,447	1,422	1,386
	達成局数	1,290	1,025	807	1,410	1,486	1,426	1,363	1,295	1,416	1,370
	達成率	84.4%	66.6%	52.5%	92.8%	98.5%	96.4%	93.0%	89.5%	99.6%	98.8%
自排局	測定局数	301	319	359	390	409	411	418	412	403	406
	達成局数	199	150	123	301	393	385	388	365	400	404
	達成率	66.1%	47.0%	34.3%	77.2%	96.1%	93.7%	92.8%	88.6%	99.3%	99.5%

図 2 - 1 浮遊粒子状物質の環境基準達成率の推移

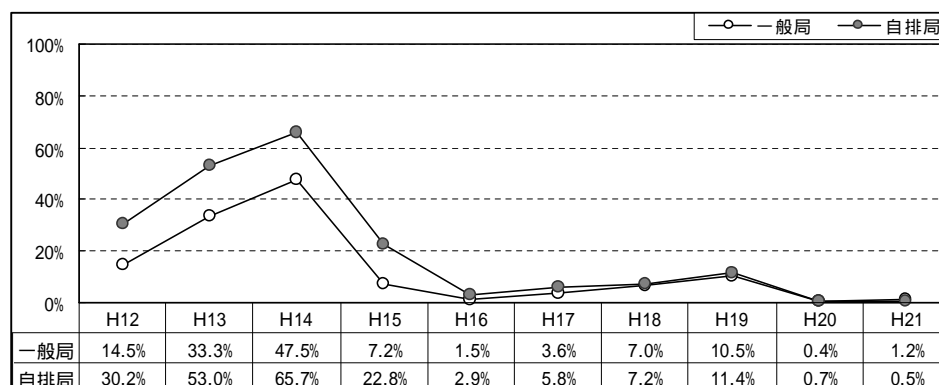


図 2 - 2 環境基準を超える日が2日以上連続することにより非達成となった測定局の割合

<一般局>

環境基準達成率		
0% 以上	30% 未満	(0)
30% 以上	60% 未満	(2)
60% 以上	100% 未満	(2)
100%		(43)

( )内は都道府県数を示す。



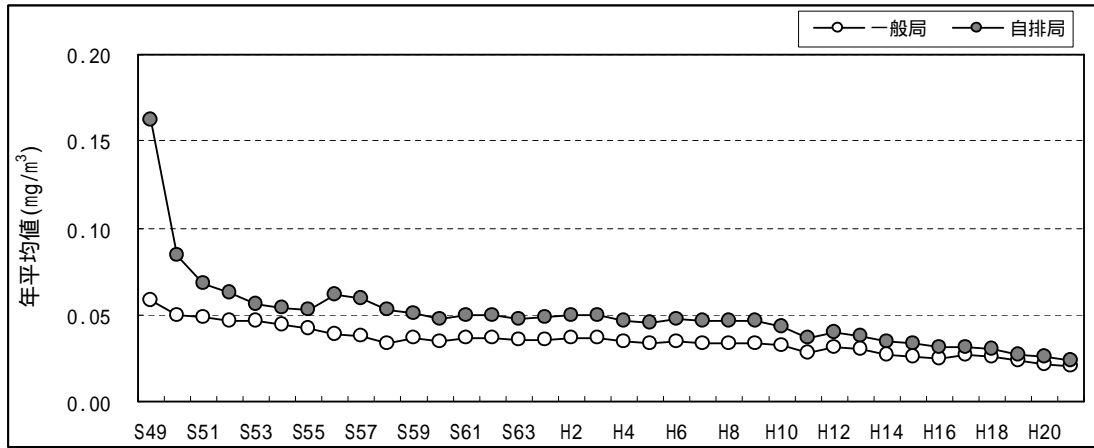
<自排局>

環境基準達成率		
0% 以上	30% 未満	(1)
30% 以上	60% 未満	(0)
60% 以上	100% 未満	(1)
100%		(45)

( )内は都道府県数を示す。  
和歌山県は自排局なし



図2 - 3 浮遊粒子状物質の環境基準達成局の分布



	S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58
一般局	0.058	0.050	0.049	0.047	0.047	0.044	0.042	0.039	0.038	0.034
自排局	0.162	0.084	0.068	0.063	0.056	0.054	0.053	0.062	0.059	0.053
	S59	S60	S61	S62	S63	H1	H2	H3	H4	H5
一般局	0.037	0.035	0.037	0.037	0.036	0.036	0.037	0.037	0.035	0.034
自排局	0.051	0.048	0.050	0.050	0.048	0.049	0.050	0.050	0.047	0.045
	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15
一般局	0.035	0.034	0.034	0.033	0.032	0.028	0.031	0.030	0.027	0.026
自排局	0.048	0.047	0.047	0.046	0.043	0.037	0.040	0.038	0.035	0.033
	H16	H17	H18	H19	H20	H21				
一般局	0.025	0.027	0.026	0.024	0.022	0.021				
自排局	0.031	0.031	0.030	0.027	0.026	0.024				

図 2 - 4 浮遊粒子状物質濃度の年平均値の推移

## (2) 自動車NOx・PM法の対策地域における状況

平成21年度の対策地域全体での有効測定局数は653局(一般局:439局、自排局:214局)であった。このうち、長期的評価では、平成20年度と比較して達成率は一般局では0.2ポイント、自排局では0.5ポイント改善し、すべての測定局において環境基準を達成した(図2-5、図2-6)。

一方、対策地域内で過去10年間継続して測定を行っている549の測定局(一般局:399局、自排局:150局)における年平均値は、一般局、自排局とも近年ゆるやかな改善傾向がみられる(図2-7)。(圏域別の環境基準達成率及び年平均値の推移は資料6-4及び資料6-5参照)

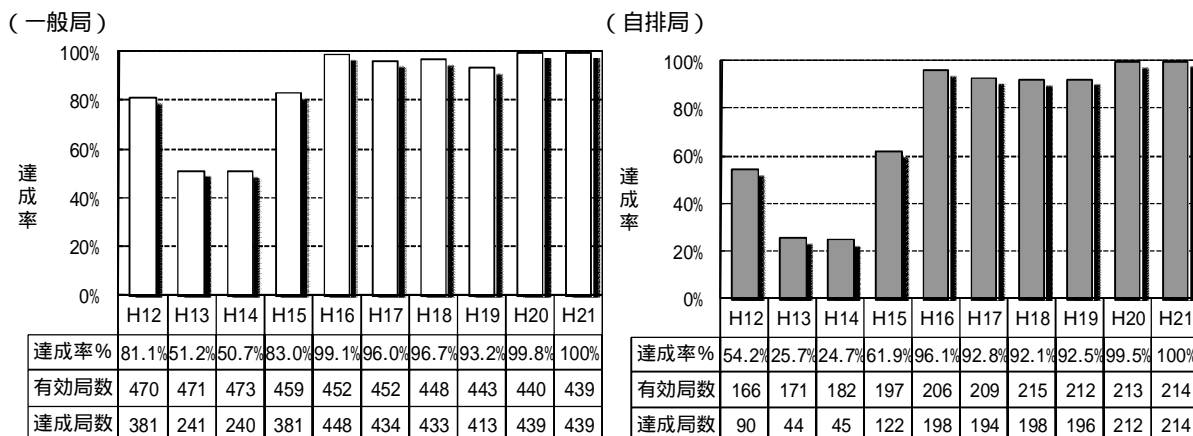


図2-5 自動車NOx・PM法の対策地域における浮遊粒子状物質の環境基準達成率の推移

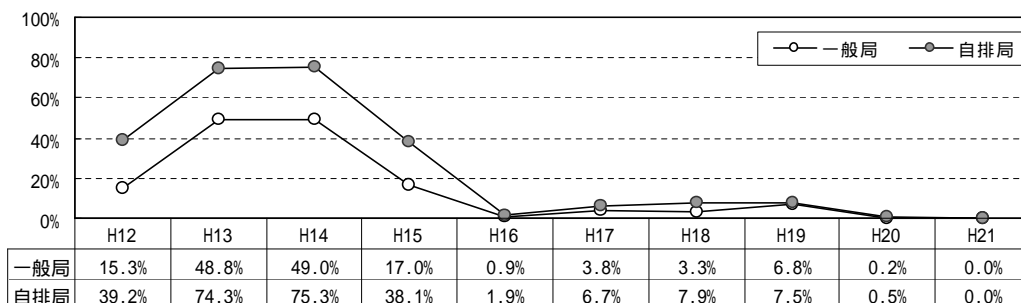


図2-6 自動車NOx・PM法の対策地域における環境基準を超える日が2日以上連続することにより非達成となった測定局の割合

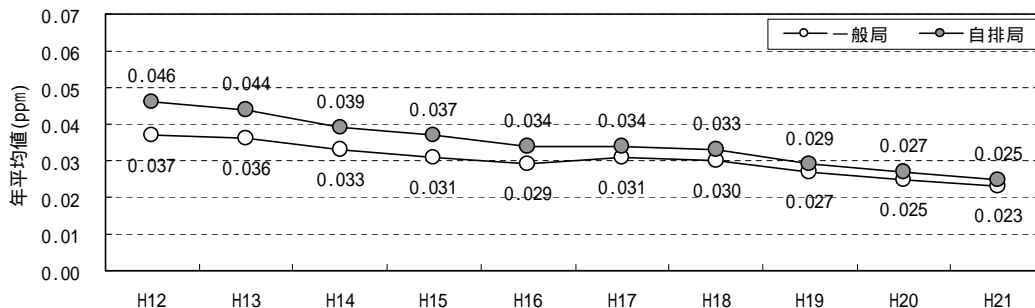


図2-7 自動車NOx・PM法の対策地域における浮遊粒子状物質の年平均値の推移(過去10年間の継続測定局の推移)



### 3. 光化学オキシダント (Ox)

平成 21 年度の光化学オキシダントの測定局数は、1,183 局（一般局：1,152 局、自排局：31 局）であった。

このうち、環境基準達成局数は、一般局で 1 局（0.1%）、自排局で 0 局（0%）であり、依然として極めて低い水準となっている（図 3 - 1）

また、昼間の日最高 1 時間値の年平均値については、近年漸増している（図 3 - 2）

一方、濃度別の測定時間の割合で見ると、1 時間値が 0.06ppm 以下の割合は一般局で 91.4%、自排局で 95.4%、0.06ppm を超え 0.12ppm 未満の割合は一般局で 8.5%、自排局で 4.6%、0.12ppm 以上の割合は一般局で 0.1%、自排局で 0.0%となっていた（図 3 - 3）

平成 21 年度における光化学オキシダント注意報等<sup>5</sup>の発令延べ日数（都道府県単位での発令日の全国合計値）は 123 日であった（図 3 - 4）

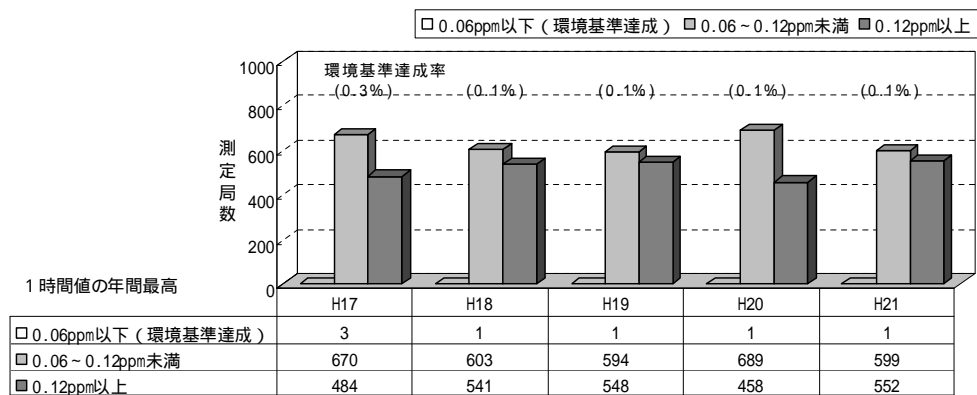
大都市に限らず都市周辺部での光化学オキシダント濃度が注意報レベルの 0.12ppm 以上となる日数も多く、光化学大気汚染の広域的な汚染傾向が認められる（図 3 - 5、図 3 - 6）

#### 5 光化学オキシダント注意報等

注意報：光化学オキシダントの濃度の 1 時間値が 0.12ppm 以上になり、かつ、気象条件からみてその状態が継続すると認められる場合に都道府県知事が発令。

警報：光化学オキシダント濃度の 1 時間値が 0.24ppm 以上になり、かつ、気象条件からみてその状態が継続すると認められる場合に都道府県知事が発令（一部の県では別の数値を設定している）

（一般局）



（自排局）

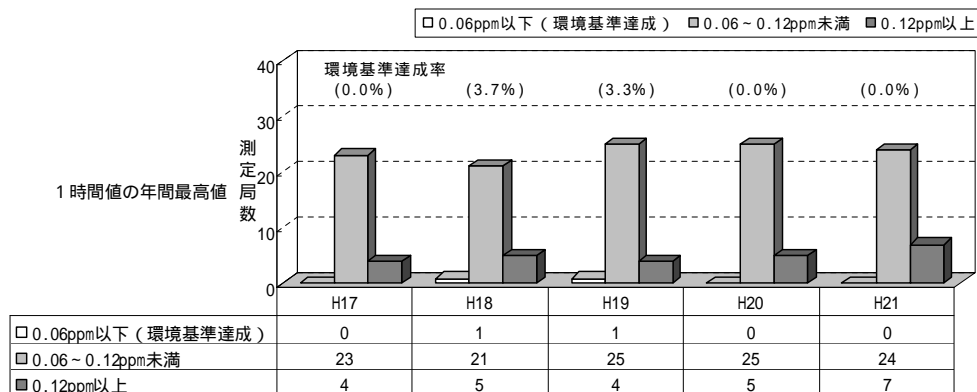
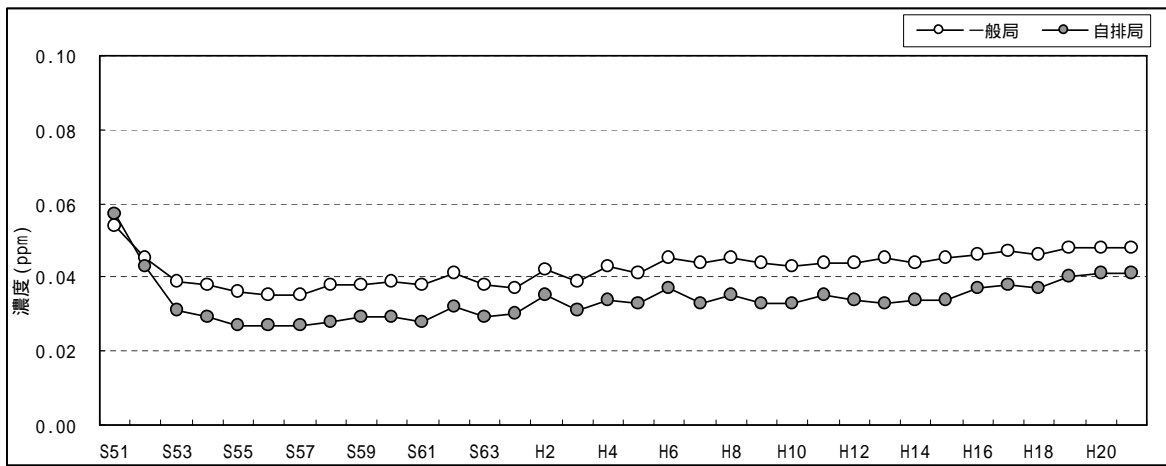


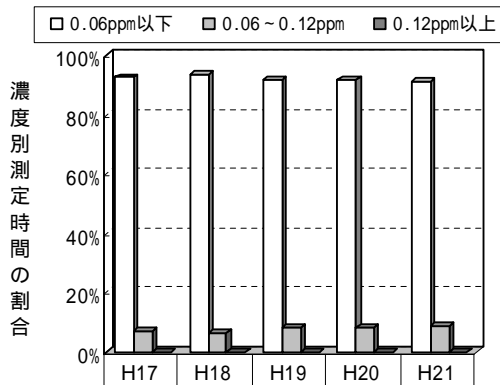
図 3 - 1 光化学オキシダント（昼間の日最高 1 時間値）濃度レベル別測定局数の推移



	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H1
一般局	0.054	0.045	0.039	0.038	0.036	0.035	0.035	0.038	0.038	0.039	0.038	0.041	0.038	0.037
自排局	0.057	0.043	0.031	0.029	0.027	0.027	0.027	0.028	0.029	0.029	0.028	0.032	0.029	0.030
	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15
一般局	0.042	0.039	0.043	0.041	0.045	0.044	0.045	0.044	0.043	0.044	0.044	0.045	0.044	0.045
自排局	0.035	0.031	0.034	0.033	0.037	0.033	0.035	0.033	0.033	0.035	0.034	0.033	0.034	0.034
	H16	H17	H18	H19	H20	H21								
一般局	0.046	0.047	0.046	0.048	0.048	0.048								
自排局	0.037	0.038	0.037	0.040	0.041	0.041								

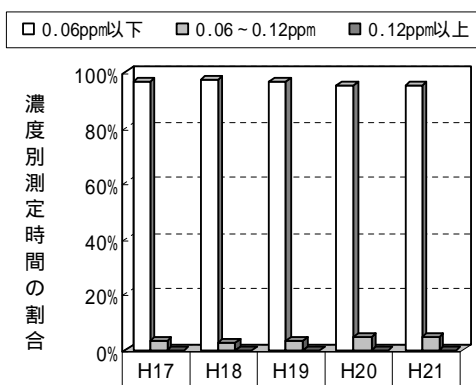
図3 - 2 光化学オキシダントの昼間の日最高1時間値の年平均値の推移

(一般局)



0.06ppm以下	92.9%	93.7%	92.0%	92.0%	91.4%
0.06~0.12ppm	7.0%	6.2%	7.9%	7.9%	8.5%
0.12ppm以上	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%

(自排局)



0.06ppm以下	96.7%	97.3%	96.6%	95.5%	95.4%
0.06~0.12ppm	3.3%	2.7%	3.4%	4.5%	4.6%
0.12ppm以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

図3 - 3 光化学オキシダント濃度レベル別測定時間割合の推移(昼間)

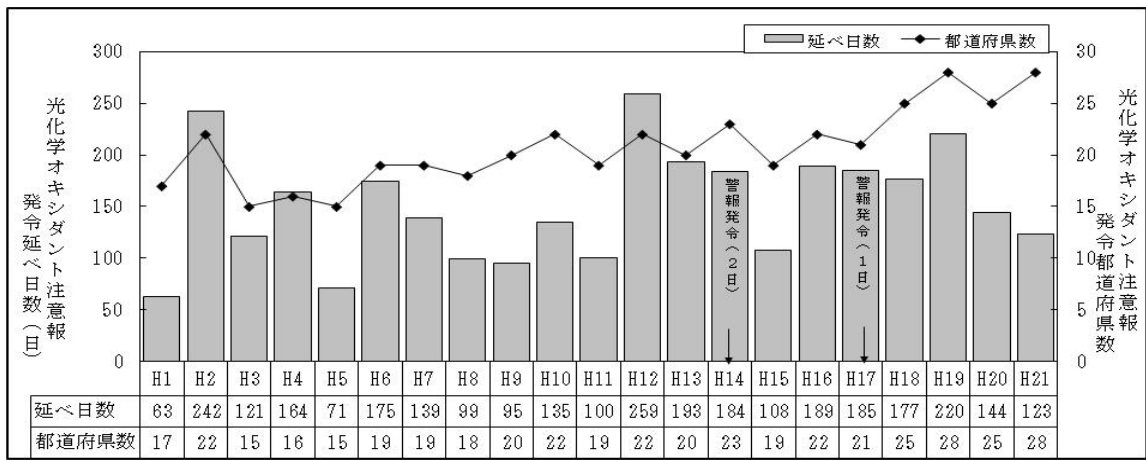


図3 - 4 光化学オキシダント注意報等発令日数及び発令都道府県数の推移

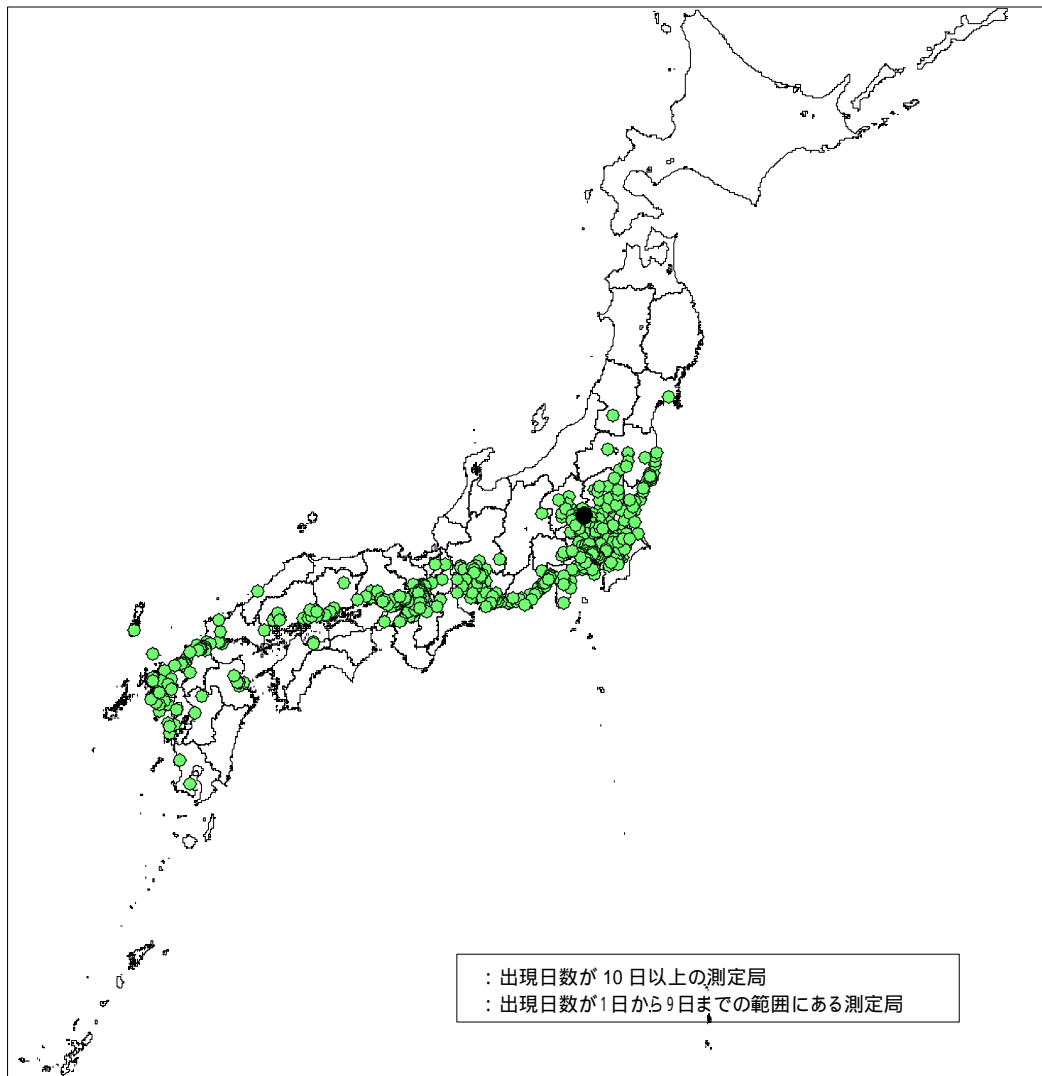
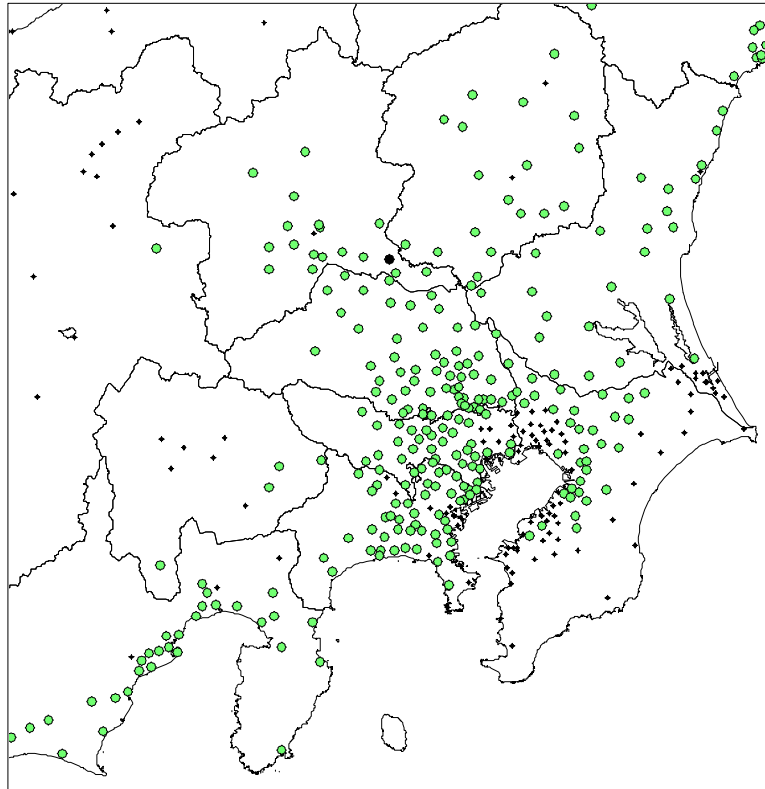


図3 - 5 注意報レベル(0.12ppm以上)の濃度が出現した日数の分布 (全国：一般局)

関東地域

- : 出現日数が10日以上の測定局
- : 出現日数が1日から9日までの範囲にある測定局
- : 出現日数が無かった測定局



関西地域

- : 出現日数が1日から9日までの範囲にある測定局
- : 出現日数が無かった測定局

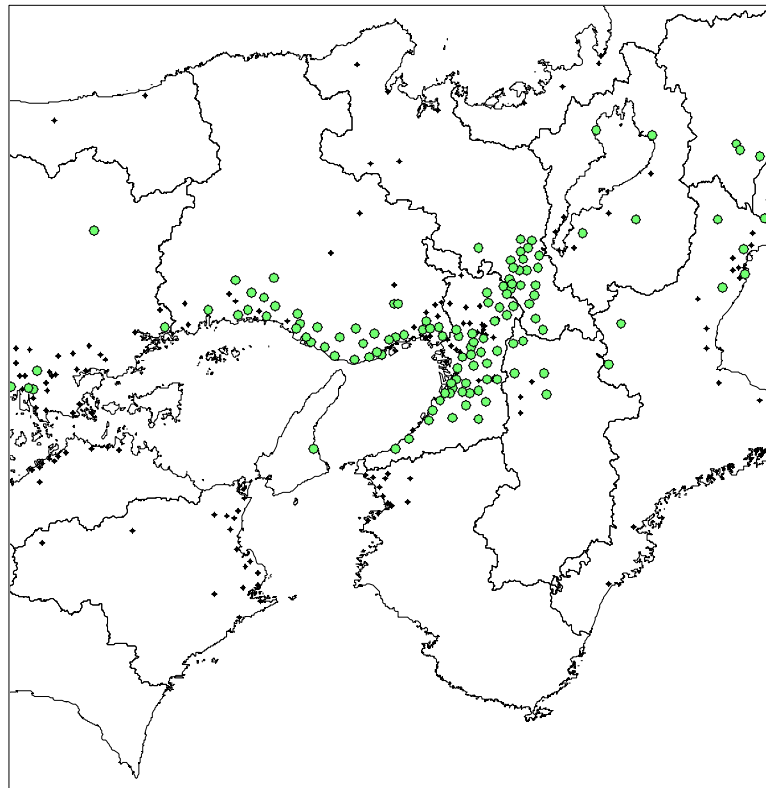


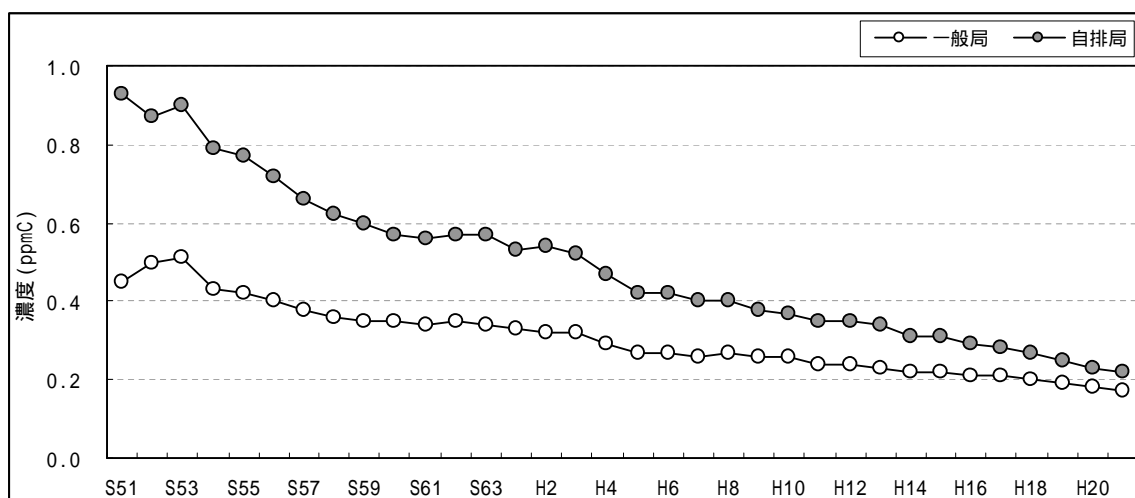
図3-6 注意報レベル(0.12ppm以上)の濃度が出現した日数の分布  
(関東地域、関西地域：一般局)

(参考) 非メタン炭化水素 (NMHC, Non-Methane hydrocarbons)

光化学オキシダントの原因物質の一つである非メタン炭化水素(全炭化水素から光化学反応性を無視できるメタンを除いたもの)の平成 21 年度の測定局数は、495 局(一般局: 321 局、自排局: 174 局)であった。

午前 6 時～ 9 時の 3 時間平均値の年平均値は、一般局、自排局とも改善傾向を示しており、平成 21 年度は一般局では 0.17ppmC、自排局では 0.22ppmC であった(図 3 - 7)。

なお、非メタン炭化水素に環境基準値は無いが、中央公害審議会大気部会炭化水素に係る環境基準専門委員会(昭和 51 年 7 月 30 日)の大気環境指針は「午前 6 時～ 9 時の 3 時間平均値が 0.20～ 0.31ppmC 以下」となっている。



	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63
一般局	0.45	0.50	0.51	0.43	0.42	0.40	0.38	0.36	0.35	0.35	0.34	0.35	0.34
自排局	0.93	0.87	0.90	0.79	0.77	0.72	0.66	0.62	0.60	0.57	0.56	0.57	0.57
	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13
一般局	0.33	0.32	0.32	0.29	0.27	0.27	0.26	0.27	0.26	0.26	0.24	0.24	0.23
自排局	0.53	0.54	0.52	0.47	0.42	0.42	0.40	0.40	0.38	0.37	0.35	0.35	0.34
	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21					
一般局	0.22	0.22	0.21	0.21	0.20	0.19	0.18	0.17					
自排局	0.31	0.31	0.29	0.28	0.27	0.25	0.23	0.22					

図 3 - 7 非メタン炭化水素濃度(午前 6 時～ 9 時の 3 時間平均値)の推移

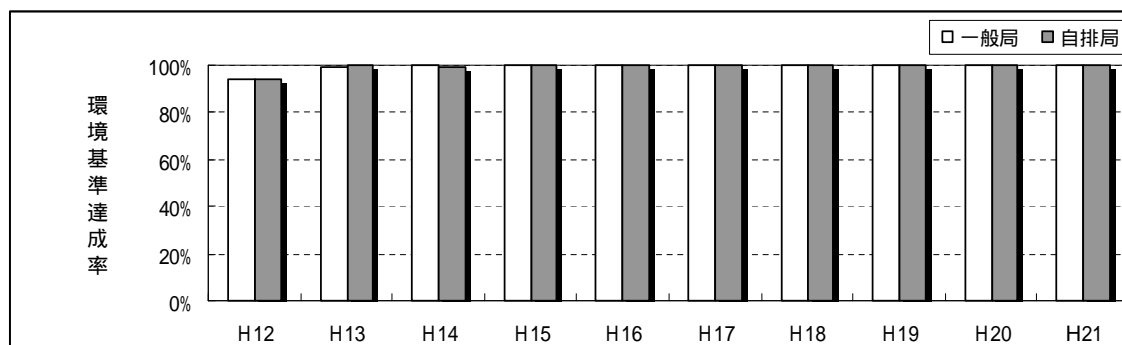
## 4. 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>)

平成 21 年度の二酸化硫黄の有効測定局数は、1,197 局（一般局：1,129 局、自排局：68 局）であった。

長期的評価による環境基準達成率は、一般局で 1,125 局（99.6%）、自排局で 68 局（100%）と良好な状況が続いている（図 4 - 1）。

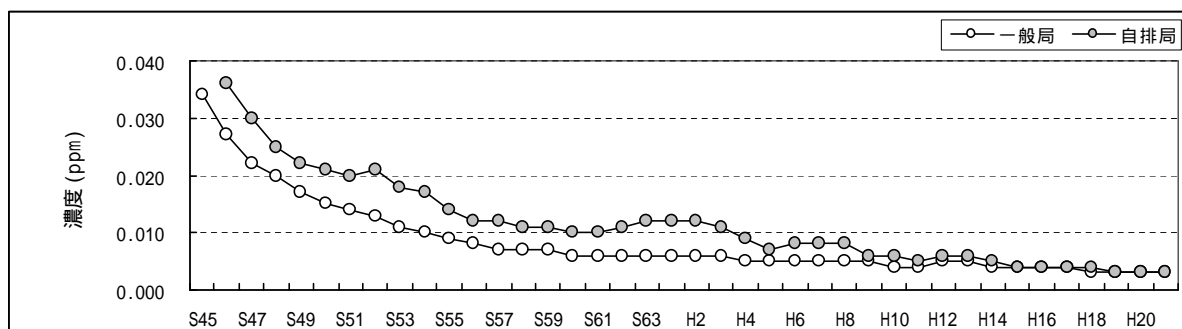
環境基準非達成については、資料 8 のとおり、鹿児島での測定結果であり、桜島の噴煙等の自然要因によるものと考えられる。

年平均値は、昭和 40、50 年代に比べ著しく改善し、近年は一般局、自排局ともほぼ横ばい傾向にある（図 4 - 2）。



		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
一般局	測定局数	1,501	1,489	1,468	1,395	1,361	1,319	1,265	1,236	1,171	1,129
	達成局数	1,415	1,483	1,465	1,391	1,359	1,315	1,263	1,234	1,169	1,125
	達成率	94.3%	99.6%	99.8%	99.7%	99.9%	99.7%	99.8%	99.8%	99.8%	99.6%
自排局	測定局数	96	95	97	92	89	85	86	82	72	68
	達成局数	90	95	96	92	89	85	86	82	72	68
	達成率	93.8%	100.0%	99.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

図 4 - 1 二酸化硫黄の環境基準達成率の推移



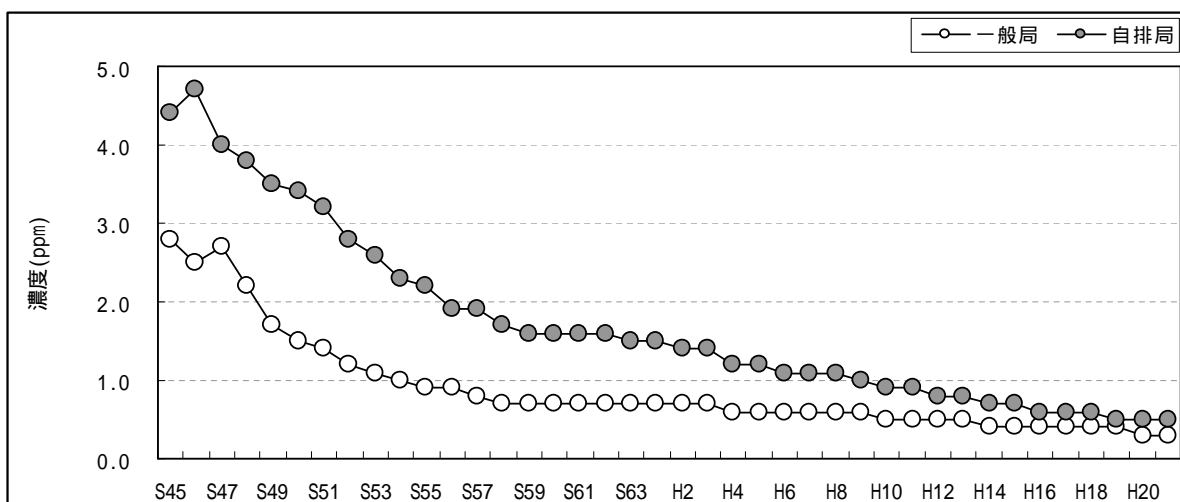
	S45	S46	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58
一般局	0.034	0.027	0.022	0.020	0.017	0.015	0.014	0.013	0.011	0.010	0.009	0.008	0.007	0.007
自排局	---	0.036	0.030	0.025	0.022	0.021	0.020	0.021	0.018	0.017	0.014	0.012	0.012	0.011
	S59	S60	S61	S62	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9
一般局	0.007	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005
自排局	0.011	0.010	0.010	0.011	0.012	0.012	0.012	0.011	0.009	0.007	0.008	0.008	0.008	0.006
	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21		
一般局	0.004	0.004	0.005	0.005	0.004	0.004	0.004	0.004	0.003	0.003	0.003	0.003		
自排局	0.006	0.005	0.006	0.006	0.005	0.004	0.004	0.004	0.004	0.003	0.003	0.003		

図 4 - 2 二酸化硫黄濃度の年平均値の推移

## 5. 一酸化炭素 (CO)

平成 21 年度の一酸化炭素の有効測定局数は、341 局（一般局：71 局、自排局：270 局）であった。長期的評価では、昭和 58 年度以降すべての測定局において環境基準を達成しており、良好な状況が続いている。

年平均値は、昭和 40、50 年代に比べ著しく改善し、近年は一般局、自排局ともにほぼ横ばい傾向にある（図 5 - 1）。



		S45	S46	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58
一般局	年平均	2.8	2.5	2.7	2.2	1.7	1.5	1.4	1.2	1.1	1.0	0.9	0.9	0.8	0.7
	局数	6	7	38	70	99	128	151	163	185	200	205	200	205	189
自排局	年平均	4.4	4.7	4.0	3.8	3.5	3.4	3.2	2.8	2.6	2.3	2.2	1.9	1.9	1.7
	局数	7	22	95	149	195	257	283	287	296	322	334	282	304	297
		S59	S60	S61	S62	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9
一般局	年平均	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
	局数	193	191	191	187	187	189	186	190	195	187	183	185	184	150
自排局	年平均	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.4	1.4	1.2	1.2	1.1	1.1	1.1	1.0
	局数	300	299	299	304	301	305	311	314	317	328	339	343	342	329
		H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21		
一般局	年平均	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3		
	局数	145	138	134	131	126	99	96	91	86	78	73	71		
自排局	年平均	0.9	0.9	0.8	0.8	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5		
	局数	327	319	314	312	309	302	306	304	294	291	276	270		

図 5 - 1 一酸化炭素濃度の年平均値の推移





## 参考資料（目次）

- 資料 1 測定局設置状況の推移（平成 17 年度～21 年度）
- 資料 2 自動車 NO<sub>x</sub>・PM 法の対策地域等の範囲
- 資料 3 都道府県別二酸化窒素環境基準達成状況
- 資料 4 - 1 二酸化窒素の 1 日平均値の年間 98% 値の上位測定局
- 資料 4 - 2 二酸化窒素の年平均値の上位測定局
- 資料 4 - 3 二酸化窒素の 1 日平均値の年間 98% 値の濃度別測定局割合
- 資料 4 - 4 自動車 NO<sub>x</sub>・PM 法対策地域別二酸化窒素の環境基準達成率の推移
- 資料 4 - 5 自動車 NO<sub>x</sub>・PM 法対策地域別二酸化窒素の年平均値の推移
- 資料 5 都道府県別浮遊粒子状物質環境基準達成状況
- 資料 6 - 1 浮遊粒子状物質の 1 日平均値の年間 2 % 除外値の上位測定局
- 資料 6 - 2 浮遊粒子状物質の年平均値の上位測定局
- 資料 6 - 3 浮遊粒子状物質の 1 日平均値の年間 2 % 除外値の濃度別測定局割合
- 資料 6 - 4 自動車 NO<sub>x</sub>・PM 法対策地域別浮遊粒子状物質の環境基準達成率の推移
- 資料 6 - 5 自動車 NO<sub>x</sub>・PM 法対策地域別浮遊粒子状物質の年平均値の推移
- 資料 6 - 6 SPM 環境基準非達成率及び黄砂延べ観測日数の推移
- 資料 7 光化学オキシダントの 1 時間値が昼間（5 時～20 時）において 0.12ppm 以上となった日数の多い測定局（一般局）
- 資料 8 二酸化硫黄の環境基準非達成局（長期的評価）
- 資料 9 大気汚染物質広域監視システム（愛称：そらまめ君）の概要

**資料1** 測定局設置状況の推移（平成17年度～21年度）

一般局

	17年度		18年度		19年度		20年度		21年度	
	市町村数	測定局数	市町村数	測定局数	市町村数	測定局数	市町村数	測定局数	市町村数	測定局数
二酸化窒素	673	1,433	663	1,399	660	1,388	656	1,384	656	1,362
浮遊粒子状物質	680	1,505	667	1,470	666	1,454	661	1,436	663	1,401
光化学オキシダント	616	1,157	608	1,145	612	1,143	619	1,148	632	1,152
二酸化硫黄	578	1,342	558	1,271	555	1,241	532	1,187	522	1,139
一酸化炭素	79	93	76	88	73	80	69	76	66	72
非メタン炭化水素	221	319	219	316	220	319	220	318	225	321
測定局総数	701	1,619	691	1,581	689	1,561	689	1,549	694	1,527

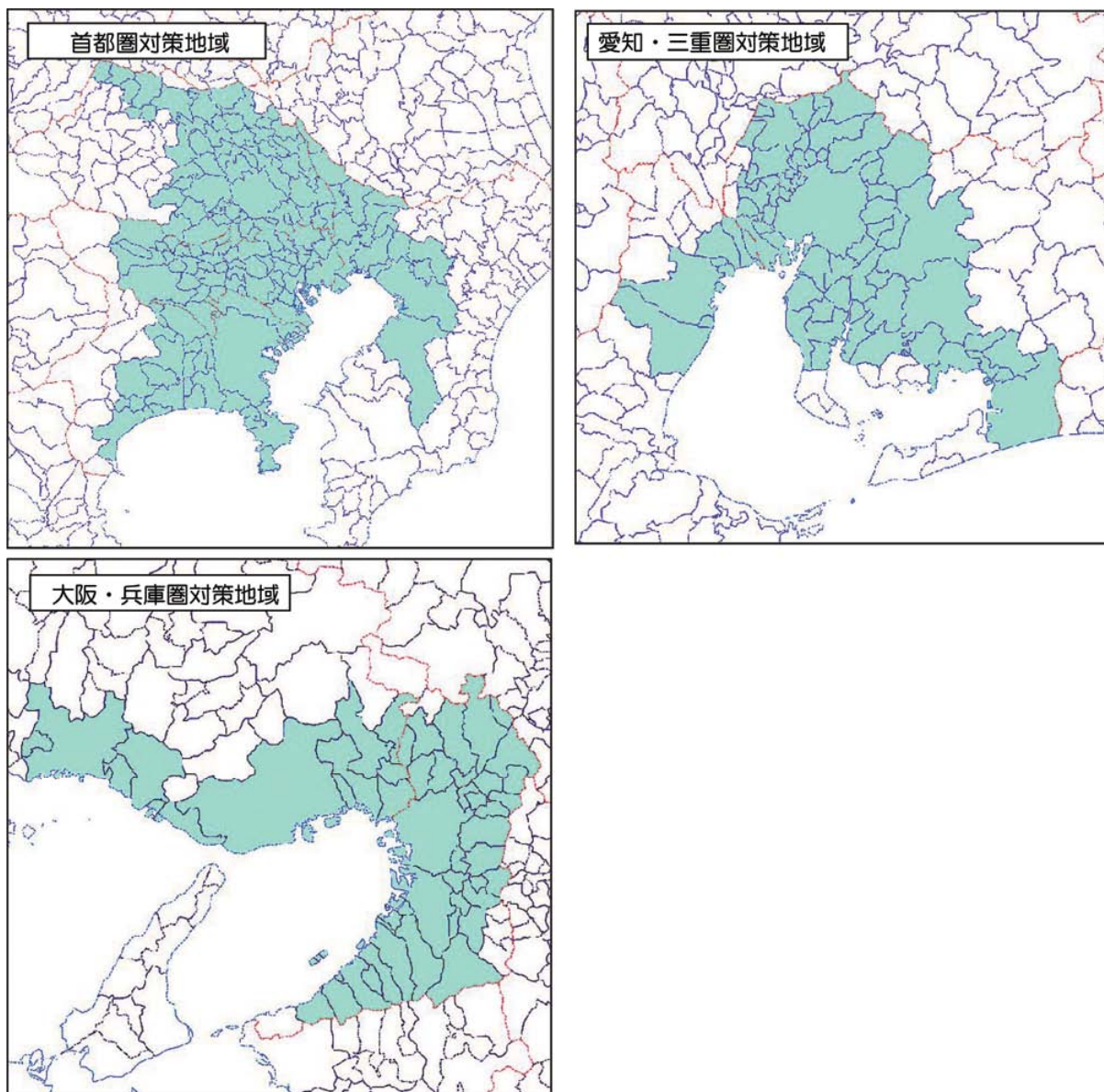
自排局

	17年度		18年度		19年度		20年度		21年度	
	市町村数	測定局数	市町村数	測定局数	市町村数	測定局数	市町村数	測定局数	市町村数	測定局数
二酸化窒素	269	438	269	442	266	437	261	429	259	425
浮遊粒子状物質	260	413	262	419	259	416	253	409	251	408
光化学オキシダント	25	27	24	27	26	30	27	30	28	31
二酸化硫黄	74	86	74	86	70	82	67	76	60	68
一酸化炭素	208	308	205	298	204	294	199	285	191	273
非メタン炭化水素	136	191	136	188	136	186	131	178	127	174
測定局総数	272	447	273	451	269	445	264	438	262	434

（注）上記測定局数には、採気口が車道中にある測定局及び環境基準の適用除外局は除いてある。  
光化学オキシダント・非メタン炭化水素以外の大気汚染物質の評価に際しては、上記測定局のうち、測定時間が年間6,000時間以上の「有効測定局」について各種統計処理を行った。

## 資料2 自動車NOx・PM法の対策地域等の範囲

### (1) 自動車NOx・PM法の対策地域の範囲



### (2) 総量規制地域の範囲

大気汚染防止法第5条の2第1項に基づき、排出基準若しくは特別排出基準又は上乘せ排出基準のみによっては大気汚染防止に係る環境基準の確保が困難であると認められる地域として政令で定める地域であり、「硫黄酸化物に係る指定地域」と「窒素酸化物に係る指定地域」がある。

#### 硫黄酸化物に係る指定地域

埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、岡山県、広島県、山口県及び福岡県の各都市24地域

#### 窒素酸化物に係る指定地域

東京都、神奈川県及び大阪府の各都市の3地域

資料3 都道府県別二酸化窒素環境基準達成状況

都道府県	一般局									自排局								
	平成19年度			平成20年度			平成21年度			平成19年度			平成20年度			平成21年度		
	有効測定局数	達成局数	達成率(%)	有効測定局数	達成局数	達成率(%)	有効測定局数	達成局数	達成率(%)	有効測定局数	達成局数	達成率(%)	有効測定局数	達成局数	達成率(%)	有効測定局数	達成局数	達成率(%)
北海道	68	68	100%	69	69	100%	70	70	100%	14	14	100%	15	15	100%	15	14	93.3%
青森県	16	16	100%	16	16	100%	14	14	100%	5	5	100%	5	5	100%	4	4	100%
岩手県	10	10	100%	11	11	100%	11	11	100%	3	3	100%	3	3	100%	3	3	100%
宮城県	31	31	100%	31	31	100%	27	27	100%	10	10	100%	9	9	100%	10	10	100%
秋田県	19	19	100%	12	12	100%	12	12	100%	5	5	100%	4	4	100%	4	4	100%
山形県	17	17	100%	17	17	100%	14	14	100%	1	1	100%	1	1	100%	1	1	100%
福島県	31	31	100%	29	29	100%	28	28	100%	3	3	100%	3	3	100%	3	3	100%
茨城県	48	48	100%	48	48	100%	47	47	100%	4	4	100%	4	4	100%	4	4	100%
栃木県	19	19	100%	19	19	100%	19	19	100%	11	11	100%	11	11	100%	11	11	100%
群馬県	18	18	100%	17	17	100%	21	21	100%	12	12	100%	8	8	100%	7	7	100%
埼玉県	56	56	100%	56	56	100%	56	56	100%	28	28	100%	28	28	100%	28	28	100%
千葉県	114	114	100%	111	111	100%	114	114	100%	29	27	93.1%	29	26	89.7%	29	28	96.6%
東京都	45	45	100%	45	45	100%	46	46	100%	38	29	76.3%	38	33	86.8%	39	35	89.7%
神奈川県	62	62	100%	61	61	100%	61	61	100%	31	29	93.5%	31	27	87.1%	31	27	87.1%
新潟県	28	28	100%	27	27	100%	26	26	100%	5	5	100%	5	5	100%	5	5	100%
富山県	18	18	100%	18	18	100%	17	17	100%	7	7	100%	7	7	100%	7	7	100%
石川県	19	19	100%	19	19	100%	19	19	100%	5	5	100%	4	4	100%	4	4	100%
福井県	27	27	100%	27	27	100%	24	24	100%	4	4	100%	4	4	100%	4	4	100%
山梨県	10	10	100%	10	10	100%	10	10	100%	1	1	100%	1	1	100%	1	1	100%
長野県	18	18	100%	18	18	100%	17	17	100%	7	7	100%	7	7	100%	7	7	100%
岐阜県	12	12	100%	12	12	100%	11	11	100%	4	4	100%	4	4	100%	4	4	100%
静岡県	56	56	100%	48	48	100%	52	52	100%	11	11	100%	8	7	87.5%	10	10	100%
愛知県	96	96	100%	98	98	100%	100	100	100%	34	30	88.2%	35	31	88.6%	35	32	91.4%
三重県	26	26	100%	26	26	100%	21	21	100%	7	6	85.7%	7	6	85.7%	7	6	85.7%
滋賀県	9	9	100%	9	9	100%	9	9	100%	4	4	100%	5	5	100%	5	5	100%
京都府	26	26	100%	26	26	100%	25	25	100%	8	8	100%	8	8	100%	9	9	100%
大阪府	67	67	100%	66	66	100%	65	65	100%	37	35	94.6%	38	38	100%	36	34	94.4%
兵庫県	67	67	100%	70	70	100%	69	69	100%	31	30	96.8%	30	29	96.7%	32	31	96.9%
奈良県	11	11	100%	11	11	100%	11	11	100%	3	3	100%	3	3	100%	3	3	100%
和歌山県	26	26	100%	26	26	100%	25	25	100%	測定局なし			測定局なし			測定局なし		
鳥取県	3	3	100%	3	3	100%	3	3	100%	2	2	100%	2	2	100%	1	1	100%
島根県	7	7	100%	7	7	100%	7	7	100%	2	2	100%	2	2	100%	2	2	100%
岡山県	46	46	100%	45	45	100%	43	43	100%	11	10	90.9%	11	11	100%	11	11	100%
広島県	34	34	100%	34	34	100%	33	33	100%	7	7	100%	7	7	100%	7	7	100%
山口県	26	26	100%	26	26	100%	26	26	100%	1	1	100%	1	1	100%	1	1	100%
徳島県	19	19	100%	19	19	100%	19	19	100%	1	1	100%	1	1	100%	1	1	100%
香川県	16	16	100%	17	17	100%	17	17	100%	4	4	100%	4	4	100%	4	4	100%
愛媛県	12	12	100%	12	12	100%	12	12	100%	1	1	100%	1	1	100%	1	1	100%
高知県	3	3	100%	3	3	100%	3	3	100%	1	1	100%	1	1	100%	1	1	100%
福岡県	38	38	100%	36	36	100%	37	37	100%	16	14	87.5%	16	16	100%	16	15	93.8%
佐賀県	11	11	100%	11	11	100%	9	9	100%	3	3	100%	2	2	100%	2	2	100%
長崎県	19	19	100%	20	20	100%	20	20	100%	4	4	100%	4	4	100%	4	4	100%
熊本県	28	28	100%	28	28	100%	28	28	100%	3	3	100%	3	3	100%	3	3	100%
大分県	22	22	100%	22	22	100%	23	23	100%	2	2	100%	2	2	100%	2	2	100%
宮崎県	14	14	100%	14	14	100%	14	14	100%	5	5	100%	5	5	100%	5	5	100%
鹿児島県	10	10	100%	10	10	100%	10	10	100%	2	2	100%	2	2	100%	2	2	100%
沖縄県	7	7	100%	6	6	100%	6	6	100%	4	4	100%	2	2	100%	2	2	100%
全国	1,379	1,379	100%	1,366	1,366	100%	1,351	1,351	100%	431	407	94.4%	421	402	95.5%	423	405	95.7%

は環境基準非達成局が存在したことを示す。

## 資料 4 - 1 二酸化窒素の1日平均値の年間98%値の上位測定局

### 一般局

測定局名	都道府県	市区町村	98%値 (ppm)	環境 基準
南港中央公園	大阪府	大阪市 住之江区	0.055	達成
文京区本駒込	東京都	文京区	0.053	達成
国設川崎	神奈川県	川崎市 川崎区	0.053	達成
港区台場	東京都	港区	0.052	達成
此花区役所	大阪府	大阪市 此花区	0.052	達成
灘浜	兵庫県	神戸市 灘区	0.052	達成
鳴尾支所	兵庫県	西宮市	0.052	達成
千代田区神田司町	東京都	千代田区	0.051	達成
中央区晴海	東京都	中央区	0.051	達成
平尾小学校	大阪府	大阪市 大正区	0.051	達成
住吉南	兵庫県	神戸市 東灘区	0.051	達成

(参考)平成20年度

測定局名	都道府県	市区町村	98%値 (ppm)
白水小学校	愛知県	名古屋市 南区	0.050
南港中央公園	大阪府	大阪市 住之江区	0.050
鳴尾支所	兵庫県	西宮市	0.050
中央区晴海	東京都	中央区	0.049
江東区大島	東京都	江東区	0.049
港区台場	東京都	港区	0.049
堀江小学校	大阪府	大阪市 西区	0.049
灘浜	兵庫県	神戸市 灘区	0.049
千代田区神田司町	東京都	千代田区	0.048
神奈川県庁	神奈川県	横浜市 中区	0.048
国設川崎	神奈川県	川崎市 川崎区	0.048
住吉南	兵庫県	神戸市 東灘区	0.048
西宮市役所	兵庫県	西宮市	0.048

### 自排局

測定局名	都道府県	市区町村	98%値 (ppm)	環境 基準
環七通り松原橋	東京都	大田区	0.076	非達成
納屋	三重県	四日市市	0.071	非達成
中山道大和町	東京都	板橋区	0.070	非達成
玉川通り上馬	東京都	世田谷区	0.069	非達成
池上新田公園前	神奈川県	川崎市 川崎区	0.068	非達成
栄町	兵庫県	宝塚市	0.067	非達成
松戸上本郷(車)	千葉県	松戸市	0.064	非達成
二子	神奈川県	川崎市 高津区	0.064	非達成
北品川交差点	東京都	品川区	0.063	非達成
今里交差点	大阪府	大阪市 東成区	0.063	非達成

(参考)平成20年度

測定局名	都道府県	市区町村	98%値 (ppm)
玉川通り上馬	東京都	世田谷区	0.078
環七通り松原橋	東京都	大田区	0.077
中山道大和町	東京都	板橋区	0.073
納屋	三重県	四日市市	0.069
千葉市役所自排	千葉県	千葉市 中央区	0.066
大平(旧岡崎市第三測定所)	愛知県	岡崎市	0.066
自排宮島	静岡県	富士市	0.065
池上新田公園前	神奈川県	川崎市 川崎区	0.064
朝日	愛知県	岡崎市	0.064
船橋日の出(車)	千葉県	船橋市	0.063
遠藤町交差点	神奈川県	川崎市 幸区	0.063

- ・環境基準 1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。
- ・評価方法 1日平均値の年間98%値を環境基準と比較する。

## 資料4 - 2 二酸化窒素の年平均値の上位測定局

### 一般局

測定局名	都道府県	市区町村	年平均値 (ppm)	環境 基準
文京区本駒込	東京都	文京区	0.029	達成
港区台場	東京都	港区	0.028	達成
神奈川県庁	神奈川県	横浜市中区	0.028	達成
国設川崎	神奈川県	川崎市川崎区	0.027	達成
千代田区神田司町	東京都	千代田区	0.026	達成
中央区晴海	東京都	中央区	0.026	達成
大田区東糀谷	東京都	大田区	0.026	達成
板橋区氷川町	東京都	板橋区	0.026	達成
公害監視センター	神奈川県	川崎市川崎区	0.026	達成
今宮中学校	大阪府	大阪市西成区	0.026	達成
南港中央公園	大阪府	大阪市住之江区	0.026	達成
灘浜	兵庫県	神戸市灘区	0.026	達成
鳴尾支所	兵庫県	西宮市	0.026	達成

(参考)平成20年度

測定局名	都道府県	市区町村	年平均値 (ppm)
神奈川県庁	神奈川県	横浜市中区	0.029
白水小学校	愛知県	名古屋市南区	0.029
鳴尾支所	兵庫県	西宮市	0.029
中央区晴海	東京都	中央区	0.028
港区台場	東京都	港区	0.028
国設川崎	神奈川県	川崎市川崎区	0.028
南港中央公園	大阪府	大阪市住之江区	0.028
板橋区氷川町	東京都	板橋区	0.027
公害監視センター	神奈川県	川崎市川崎区	0.027
灘浜	兵庫県	神戸市灘区	0.027

### 自排局

測定局名	都道府県	市区町村	年平均値 (ppm)	環境 基準
中山道大和町	東京都	板橋区	0.047	非達成
環七通り松原橋	東京都	大田区	0.046	非達成
玉川通り上馬	東京都	世田谷区	0.044	非達成
二子	神奈川県	川崎市高津区	0.043	非達成
池上新田公園前	神奈川県	川崎市川崎区	0.042	非達成
天神	福岡県	福岡市中央区	0.041	非達成
遠藤町交差点	神奈川県	川崎市幸区	0.039	非達成
自排宮島	静岡県	富士市	0.039	達成
朝日	愛知県	岡崎市	0.039	非達成
小牧市大気汚染測定局	愛知県	小牧市	0.037	達成
宮川小学校	兵庫県	芦屋市	0.037	達成
栄町	兵庫県	宝塚市	0.037	非達成

(参考)平成20年度

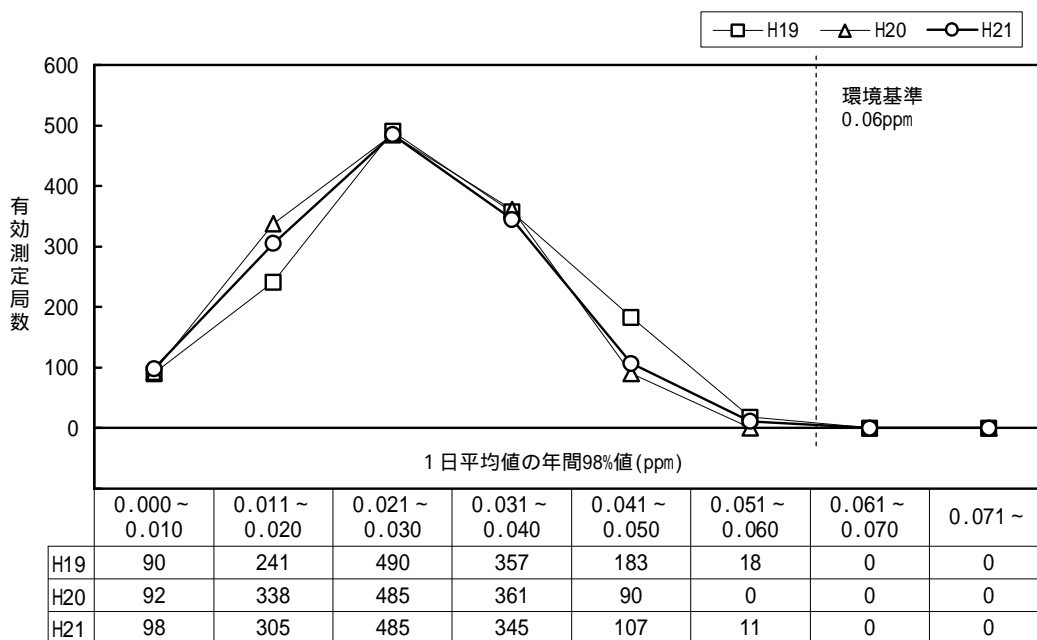
測定局名	都道府県	市区町村	年平均値 (ppm)
中山道大和町	東京都	板橋区	0.048
玉川通り上馬	東京都	世田谷区	0.046
環七通り松原橋	東京都	大田区	0.045
池上新田公園前	神奈川県	川崎市川崎区	0.043
遠藤町交差点	神奈川県	川崎市幸区	0.042
二子	神奈川県	川崎市高津区	0.042
朝日	愛知県	岡崎市	0.042
山手通り大坂橋	東京都	目黒区	0.041
千葉市役所自排	千葉県	千葉市中央区	0.040
栄町	兵庫県	宝塚市	0.040
天神	福岡県	福岡市中央区	0.040

・環境基準 1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。

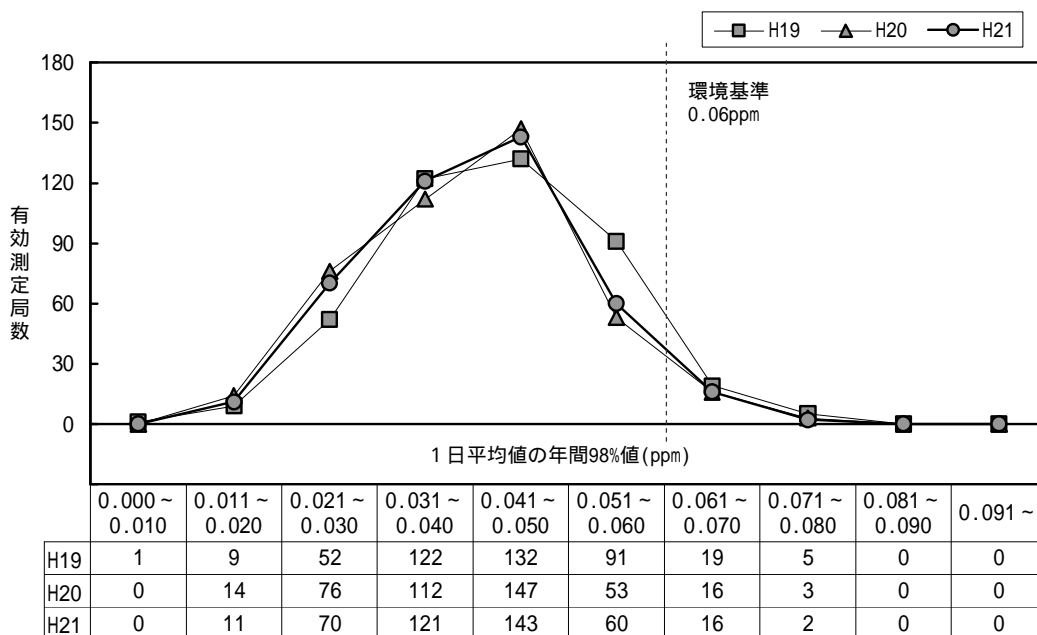
・評価方法 1日平均値の年間98%値を環境基準と比較する。

資料 4 - 3 二酸化窒素の1日平均値の年間98%値の濃度別測定局割合

(一般局)

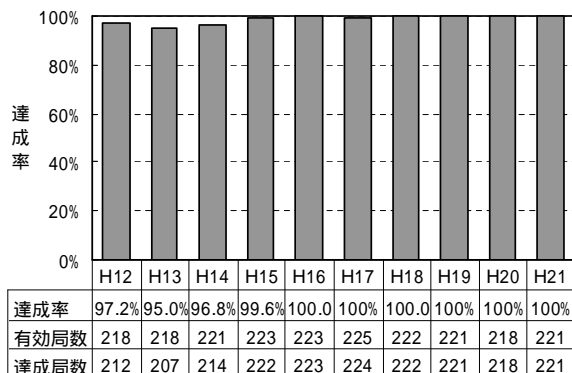


(自排局)

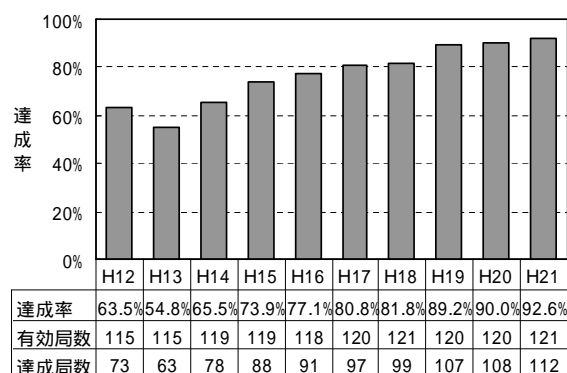


## 資料 4 - 4 自動車NOx・PM法対策地域別二酸化窒素の環境基準達成率の推移

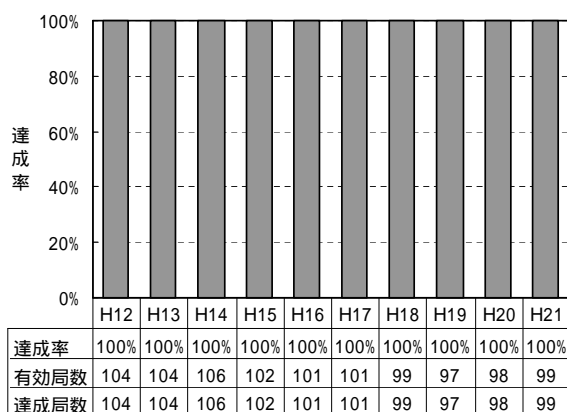
首都圏対策地域  
(一般局)



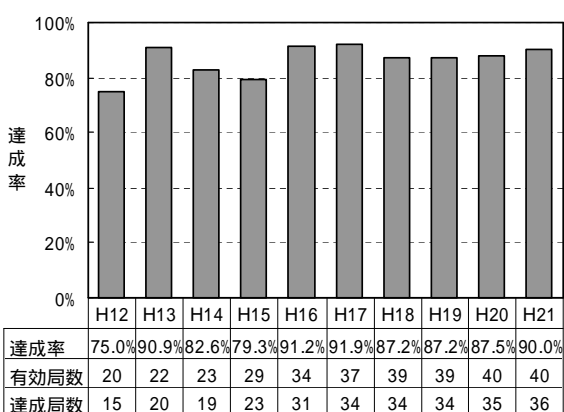
(自排局)



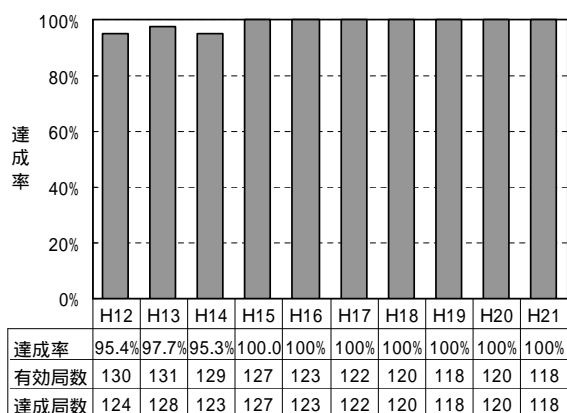
愛知・三重圏対策地域  
(一般局)



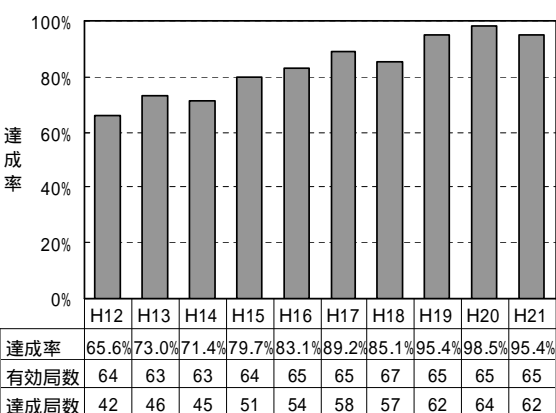
(自排局)



大阪・兵庫圏対策地域  
(一般局)



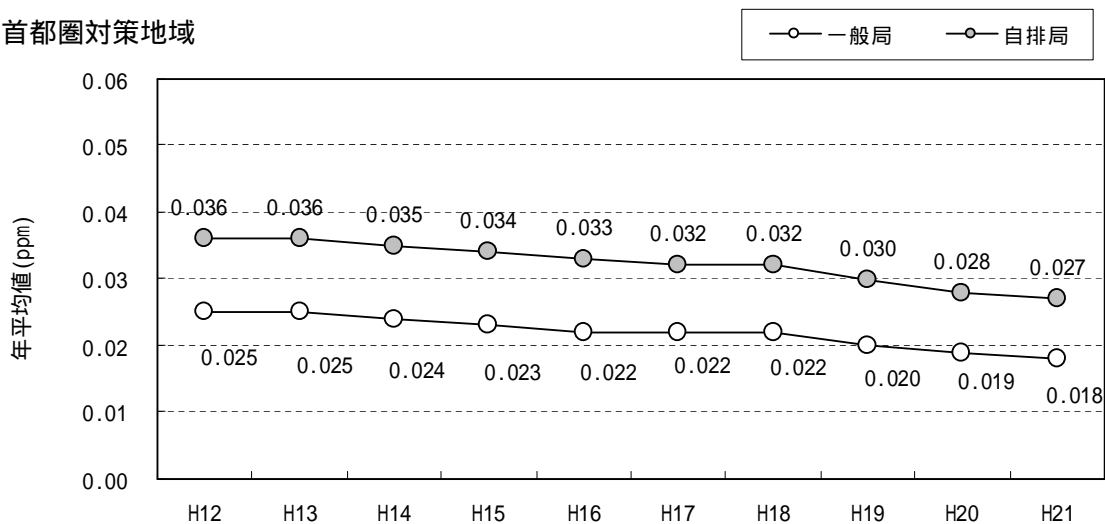
(自排局)



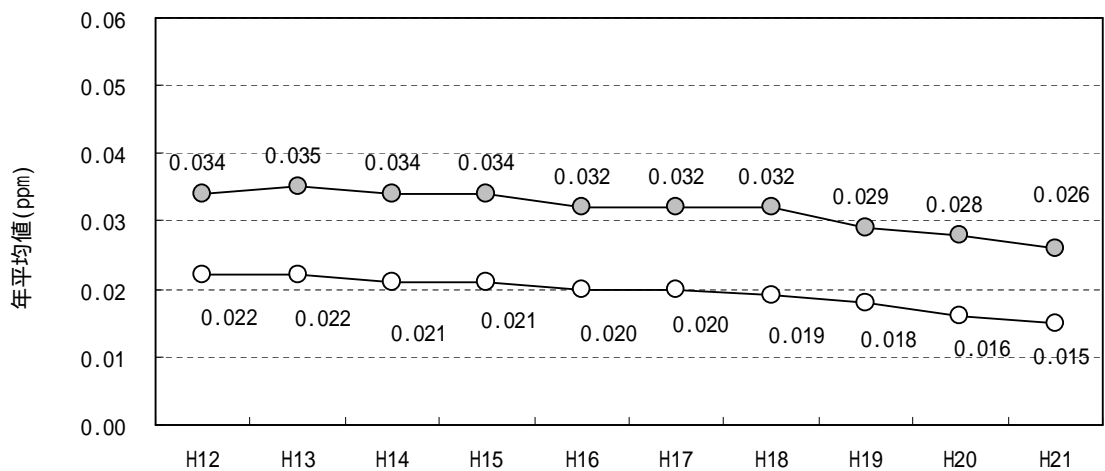


**資料 4 - 5** 自動車NOx・PM法対策地域別二酸化窒素の年平均値の推移  
(過去10年間の継続測定局の推移)

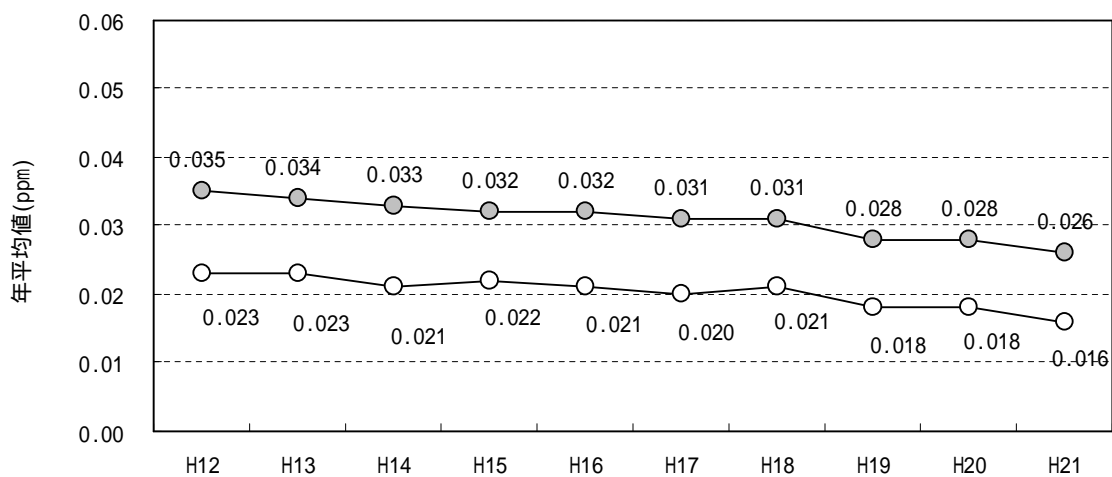
首都圏対策地域



愛知・三重圏対策地域



大阪・兵庫圏対策地域



資料5 都道府県別浮遊粒子状物質環境基準達成状況

都道府県	一般局									自排局								
	平成19年度			平成20年度			平成21年度			平成19年度			平成20年度			平成21年度		
	有効測定局数	達成局数	達成率(%)	有効測定局数	達成局数	達成率(%)	有効測定局数	達成局数	達成率(%)	有効測定局数	達成局数	達成率(%)	有効測定局数	達成局数	達成率(%)	有効測定局数	達成局数	達成率(%)
北海道	67	67	100%	68	68	100%	61	61	100%	16	16	100%	17	17	100%	17	17	100%
青森県	16	16	100%	16	15	93.8%	14	14	100%	5	5	100%	5	5	100%	4	4	100%
岩手県	7	7	100%	7	7	100%	7	7	100%	3	3	100%	3	3	100%	3	3	100%
宮城県	33	32	97.0%	33	33	100%	27	27	100%	9	9	100%	8	8	100%	9	9	100%
秋田県	18	18	100%	17	17	100%	17	17	100%	4	4	100%	3	3	100%	3	3	100%
山形県	15	13	86.7%	15	15	100%	14	14	100%	1	1	100%	1	1	100%	1	1	100%
福島県	28	28	100%	23	23	100%	24	24	100%	3	3	100%	3	3	100%	3	3	100%
茨城県	47	47	100%	47	46	97.9%	46	46	100%	4	4	100%	4	4	100%	4	4	100%
栃木県	25	25	100%	25	25	100%	25	25	100%	11	11	100%	11	11	100%	11	11	100%
群馬県	24	20	83.3%	23	23	100%	23	23	100%	11	11	100%	7	7	100%	6	6	100%
埼玉県	56	56	100%	56	56	100%	56	56	100%	24	24	100%	24	24	100%	24	24	100%
千葉県	112	112	100%	112	112	100%	112	112	100%	29	29	100%	28	28	100%	28	28	100%
東京都	47	47	100%	47	47	100%	48	48	100%	37	37	100%	37	37	100%	38	38	100%
神奈川県	62	62	100%	61	61	100%	61	61	100%	31	31	100%	31	31	100%	31	31	100%
新潟県	29	28	96.6%	28	28	100%	26	26	100%	5	5	100%	5	5	100%	5	5	100%
富山県	25	25	100%	25	25	100%	22	22	100%	7	7	100%	7	7	100%	7	7	100%
石川県	20	20	100%	19	19	100%	19	19	100%	5	5	100%	4	4	100%	4	4	100%
福井県	33	32	97.0%	31	31	100%	28	28	100%	3	3	100%	3	3	100%	4	4	100%
山梨県	10	10	100%	10	10	100%	10	10	100%	1	1	100%	2	2	100%	2	2	100%
長野県	16	16	100%	15	15	100%	16	16	100%	7	7	100%	7	7	100%	7	7	100%
岐阜県	14	13	92.9%	15	15	100%	15	15	100%	4	4	100%	4	4	100%	4	4	100%
静岡県	51	44	86.3%	45	44	97.8%	47	47	100%	11	9	81.8%	9	8	88.9%	10	10	100%
愛知県	104	70	67.3%	104	104	100%	105	105	100%	34	24	70.6%	35	34	97.1%	35	35	100%
三重県	25	23	92.0%	25	25	100%	21	21	100%	7	3	42.9%	7	7	100%	7	7	100%
滋賀県	9	9	100%	9	9	100%	9	9	100%	3	3	100%	4	4	100%	4	4	100%
京都府	25	24	96.0%	24	24	100%	24	24	100%	8	8	100%	8	8	100%	9	9	100%
大阪府	68	67	98.5%	66	66	100%	64	64	100%	34	33	97.1%	35	35	100%	34	34	100%
兵庫県	66	65	98.5%	68	67	98.5%	67	67	100%	27	25	92.6%	26	26	100%	27	27	100%
奈良県	11	11	100%	11	11	100%	11	11	100%	3	3	100%	3	3	100%	3	3	100%
和歌山県	32	31	96.9%	32	32	100%	32	32	100%	測定局なし			測定局なし			測定局なし		
鳥取県	3	2	66.7%	2	2	100%	3	3	100%	2	2	100%	2	2	100%	2	2	100%
島根県	7	3	42.9%	7	7	100%	7	7	100%	2	1	50.0%	2	1	50.0%	2	2	100%
岡山県	50	50	100%	49	49	100%	44	44	100%	10	10	100%	10	10	100%	10	10	100%
広島県	32	27	84.4%	32	32	100%	32	32	100%	7	3	42.9%	7	7	100%	7	7	100%
山口県	34	22	64.7%	32	32	100%	32	32	100%	1	0	0.0%	1	1	100%	1	1	100%
徳島県	23	23	100%	18	18	100%	18	18	100%	1	1	100%	1	1	100%	1	1	100%
香川県	17	17	100%	18	18	100%	18	18	100%	3	3	100%	3	3	100%	3	3	100%
愛媛県	25	17	68.0%	25	25	100%	23	23	100%	1	1	100%	1	1	100%	1	1	100%
高知県	5	5	100%	5	5	100%	5	5	100%	1	1	100%	1	1	100%	1	1	100%
福岡県	41	3	19.5%	41	33	95.1%	42	40	95.2%	17	3	17.6%	16	16	100%	16	16	100%
佐賀県	13	4	30.8%	13	13	100%	11	11	100%	3	2	66.7%	2	2	100%	2	2	100%
長崎県	19	7	36.8%	20	20	100%	20	9	45.0%	3	0	0.0%	3	3	100%	3	2	66.7%
熊本県	29	20	69.0%	29	29	100%	29	29	100%	3	1	33.3%	3	3	100%	3	3	100%
大分県	22	20	90.9%	22	22	100%	23	23	100%	2	1	50.0%	2	2	100%	2	2	100%
宮崎県	10	10	100%	10	10	100%	10	10	100%	5	4	80.0%	5	5	100%	5	5	100%
鹿児島県	15	15	100%	15	15	100%	15	14	93.3%	2	2	100%	2	2	100%	2	2	100%
沖縄県	7	7	100%	7	7	100%	3	1	33.3%	3	3	100%	1	1	100%	1	0	0%
全国	1,447	1,295	89.5%	1,422	1,416	99.6%	1,386	1,370	98.8%	412	365	88.6%	403	400	99.3%	406	404	99.5%

は環境基準非達成局が存在したことを示す。

## 資料 6 - 1 浮遊粒子状物質の1日平均値の年間2%除外値の上位測定局

### 一般局

測定局名	都道府県	市区町村	2%除外値 (mg/m <sup>3</sup> )	2日以上 連続	環境 基準
有村	鹿児島県	鹿児島市	0.086	有	非達成
北山配水池	愛知県	武豊町	0.083	無	達成
石巻	宮城県	石巻市	0.081	無	達成
吾妻	愛知県	豊橋市	0.076	無	達成
市役所	香川県	観音寺市	0.073	無	達成
錦ヶ丘	熊本県	熊本市	0.073	無	達成
童浦小学校	愛知県	田原市	0.071	無	達成
富貴小学校	愛知県	武豊町	0.071	無	達成
平尾小学校	大阪府	大阪市 大正区	0.071	無	達成
瀬居島	香川県	坂出市	0.071	無	達成
金子	愛媛県	新居浜市	0.071	無	達成
多喜浜	愛媛県	新居浜市	0.071	無	達成
元岡	福岡県	福岡市 西区	0.071	有	非達成
柳川	福岡県	柳川市	0.071	無	達成

日平均値が0.10mg/m<sup>3</sup>を超えた日が2日以上連続したことの有無

### 自排局

測定局名	都道府県	市区町村	2%除外値 (mg/m <sup>3</sup> )	2日以上 連続	環境 基準
西本町測定所	福岡県	北九州市 八幡東区	0.079	無	達成
垂水自動車	兵庫県	神戸市 垂水区	0.076	無	達成
松原北小学校	大阪府	松原市	0.075	無	達成
黒崎測定所	福岡県	北九州市 八幡西区	0.074	無	達成
市川市市川 (車)	千葉県	市川市	0.072	無	達成
永代通り新川	東京都	中央区	0.072	無	達成
長崎市役所	長崎県	長崎市	0.072	有	非達成
大高	岡山県	倉敷市	0.071	無	達成
大平	愛知県	岡崎市	0.069	無	達成
室町測定所	福岡県	北九州市 小倉北区	0.068	無	達成
長崎駅前	長崎県	長崎市	0.068	無	達成

日平均値が0.10mg/m<sup>3</sup>を超えた日が2日以上連続したことの有無

(参考)平成20年度

測定局名	都道府県	市区町村	2%除外値 (mg/m <sup>3</sup> )
野田桐ヶ作	千葉県	野田市	0.086
柳川	福岡県	柳川市	0.084
石巻	宮城県	石巻市	0.083
大垣西部	岐阜県	大垣市	0.083
救急医療セン ター	静岡県	富士市	0.082
多喜浜	愛媛県	新居浜市	0.081
五所川原第三 中学校	青森県	五所川原市	0.080
河内	栃木県	宇都宮市	0.077
大垣赤坂	岐阜県	大垣市	0.077
市川二俣	千葉県	市川市	0.076

(参考)平成20年度

測定局名	都道府県	市区町村	2%除外値 (mg/m <sup>3</sup> )
大平(旧岡崎市 第三測定所)	愛知県	岡崎市	0.105
市川市市川 (車)	千葉県	市川市	0.081
自排塔の木	静岡県	富士市	0.081
新目白通り下 落合	東京都	新宿区	0.080
袖ヶ浦大曾根 (車)	千葉県	袖ヶ浦市	0.078
自排宮島	静岡県	富士市	0.077
土浦中村南	茨城県	土浦市	0.076
鶴見区下末吉 小学校	神奈川県	横浜市 鶴見区	0.075
平出	栃木県	宇都宮市	0.073
永代通り新川	東京都	中央区	0.073

- ・環境基準 1時間値の1日平均値が0.10mg/m<sup>3</sup>以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m<sup>3</sup>以下であること。
- ・評価方法 1日平均値の年間2%除外値を環境基準と比較する。ただし、環境基準を超える日が2日以上連続した場合には非達成とする。

## 資料6 - 2 浮遊粒子状物質の年平均値の上位測定局

### 一般局

測定局名	都道府県	市区町村	年平均値 (mg/m <sup>3</sup> )	2日以上 連続	環境基準
錦ヶ丘	熊本県	熊本市	0.041	無	達成
西南部測定局	静岡県	浜松市	0.038	無	達成
吾妻	愛知県	豊橋市	0.038	無	達成
えーるピア久留米	福岡県	久留米市	0.038	無	達成
富貴小学校	愛知県	武豊町	0.037	無	達成
北山配水池	愛知県	武豊町	0.037	無	達成
多喜浜	愛媛県	新居浜市	0.036	無	達成
名和小学校	愛知県	東海市	0.035	無	達成
平尾小学校	大阪府	大阪市 大正区	0.035	無	達成
金子	愛媛県	新居浜市	0.035	無	達成

日平均値が0.10mg/m<sup>3</sup>を超えた日が2日以上連続したことの有無

(参考)平成20年度

測定局名	都道府県	市区町村	年平均値 (mg/m <sup>3</sup> )
那覇	沖縄県	那覇市	0.048
野田桐ヶ作	千葉県	野田市	0.042
錦ヶ丘	熊本県	熊本市	0.042
太宰府	福岡県	太宰府市	0.041
半田市 青年の家	愛知県	半田市	0.038
多喜浜	愛媛県	新居浜市	0.038
東長崎支所	長崎県	長崎市	0.038
大垣赤坂	岐阜県	大垣市	0.037
金子	愛媛県	新居浜市	0.037
えーるピア久留米	福岡県	久留米市	0.037

### 自排局

測定局名	都道府県	市区町村	年平均値 (mg/m <sup>3</sup> )	2日以上 連続	環境基準
市川市市川(車)	千葉県	市川市	0.041	無	達成
大平	愛知県	岡崎市	0.041	無	達成
西本町測定所	福岡県	北九州市 八幡東区	0.041	無	達成
垂水自動車	兵庫県	神戸市垂水区	0.039	無	達成
都城自排局	宮崎県	都城市	0.039	無	達成
梅田新道	大阪府	大阪市 北区	0.038	無	達成
黒崎測定所	福岡県	北九州市 八幡西区	0.038	無	達成
習志野秋津(車)	千葉県	習志野市	0.037	無	達成
自排檀原	奈良県	檀原市	0.036	無	達成
長崎市役所	長崎県	長崎市	0.036	有	非達成

日平均値が0.10mg/m<sup>3</sup>を超えた日が2日以上連続したことの有無

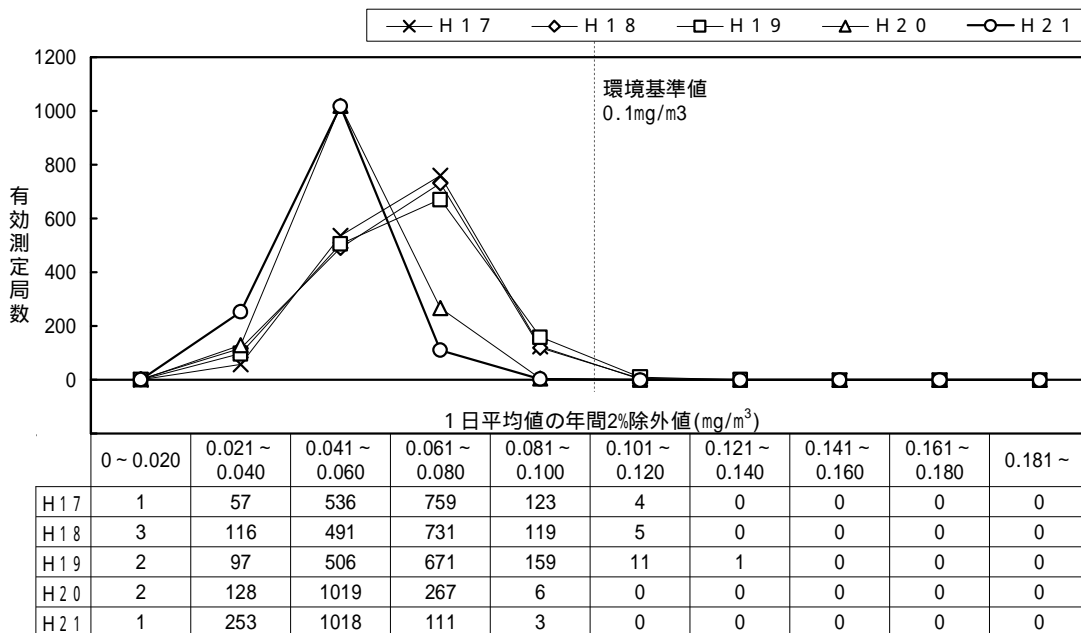
(参考)平成20年度

測定局名	都道府県	市区町村	年平均値 (mg/m <sup>3</sup> )
大平 (旧岡崎市第三測定所)	愛知県	岡崎市	0.050
比恵	福岡県	福岡市 博多区	0.043
市川市市川(車)	千葉県	市川市	0.042
太子堂	大阪府	八尾市	0.039
西名阪 柏原旭ヶ丘	大阪府	柏原市	0.039
林崎	兵庫県	明石市	0.039
紙屋町	広島県	広島市 中区	0.039
垂水自動車	兵庫県	神戸市 垂水区	0.038
茅ヶ崎駅前 交差点	神奈川県	茅ヶ崎市	0.037
梅田新道	大阪府	大阪市 北区	0.037
天神	福岡県	福岡市 中央区	0.037
都城自排局	宮崎県	都城市	0.037

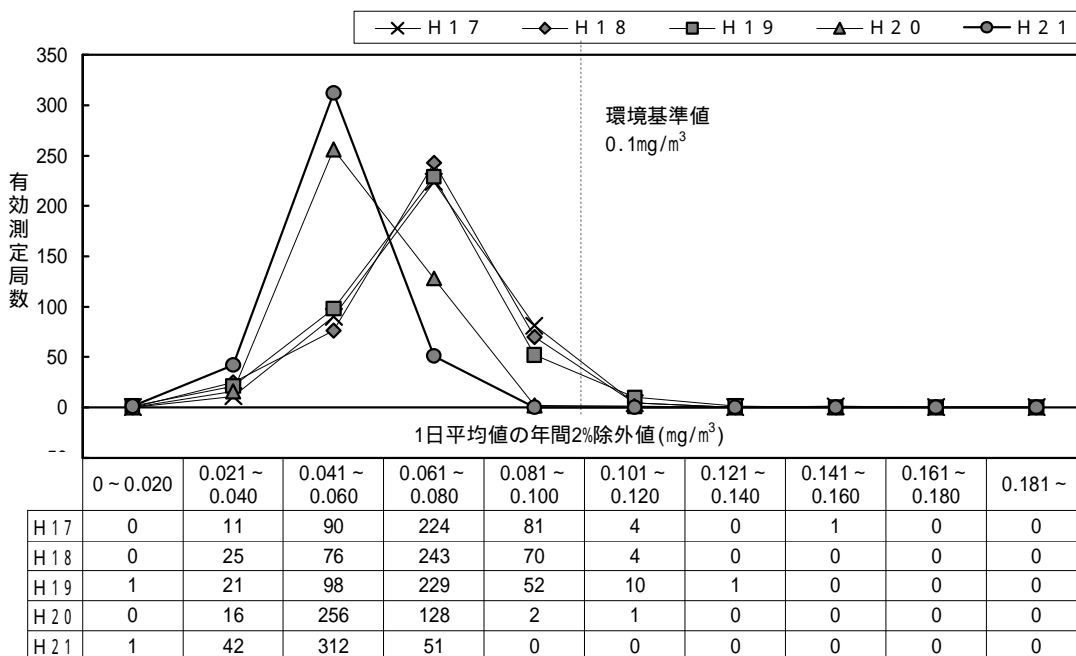
- ・環境基準 1時間値の1日平均値が0.10mg/m<sup>3</sup>以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m<sup>3</sup>以下であること。
- ・評価方法 1日平均値の年間2%除外値を環境基準と比較する。ただし、環境基準を超える日が2日以上連続した場合には非達成とする。

資料 6 - 3 浮遊粒子状物質の1日平均値の年間2%除外値の濃度別測定局割合

(一般局)

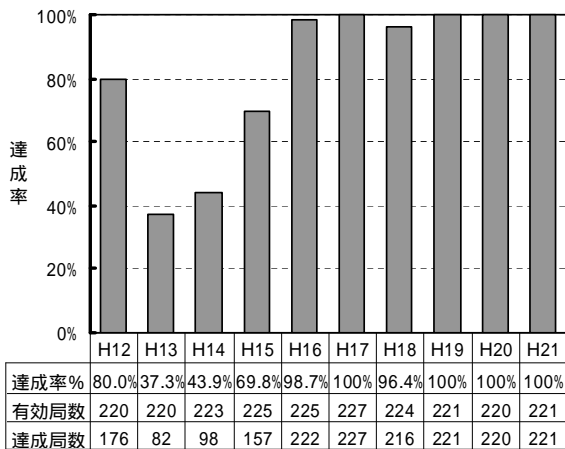


(自排局)

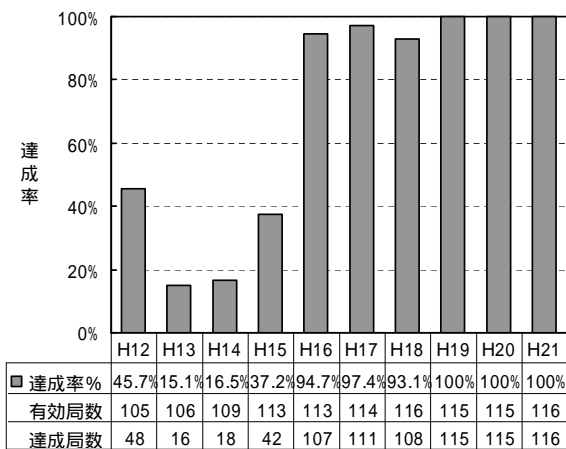


資料6 - 4 自動車NOx・PM法対策地域別浮遊粒子状物質の環境基準達成率の推移

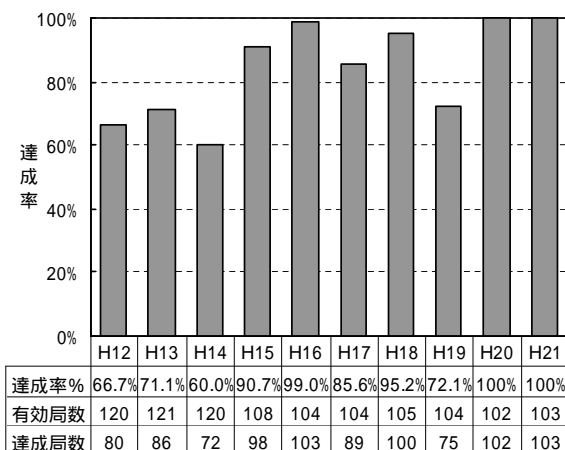
首都圏対策地域  
(一般局)



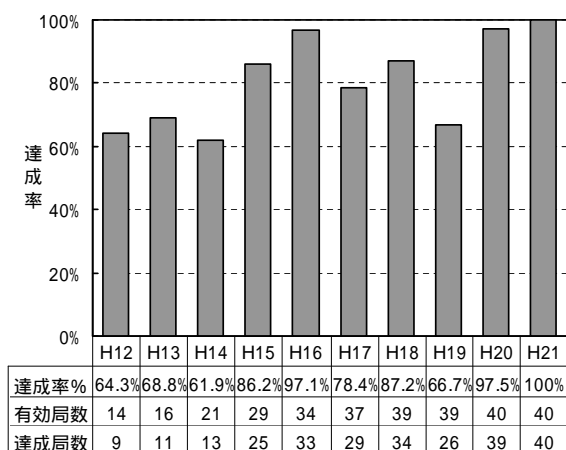
(自排局)



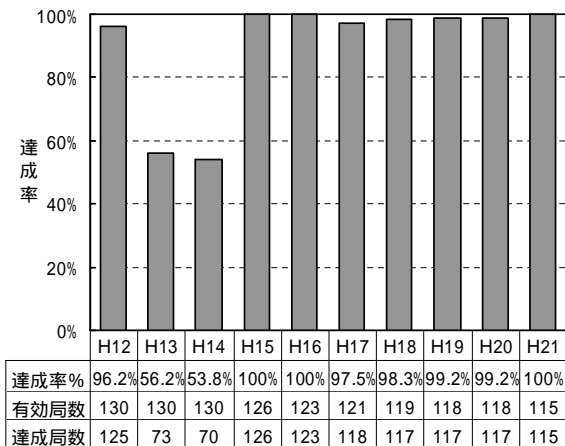
愛知・三重圏対策地域  
(一般局)



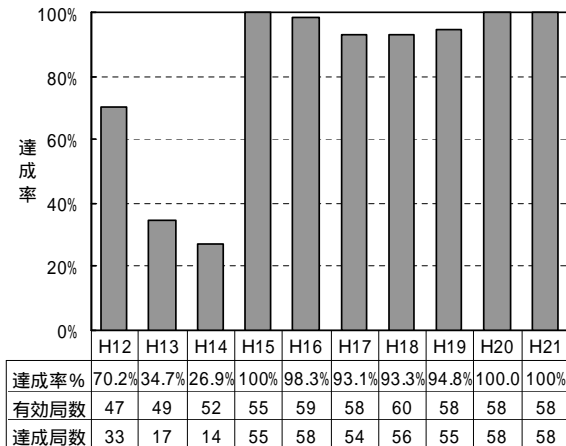
(自排局)



大阪・兵庫圏対策地域  
(一般局)

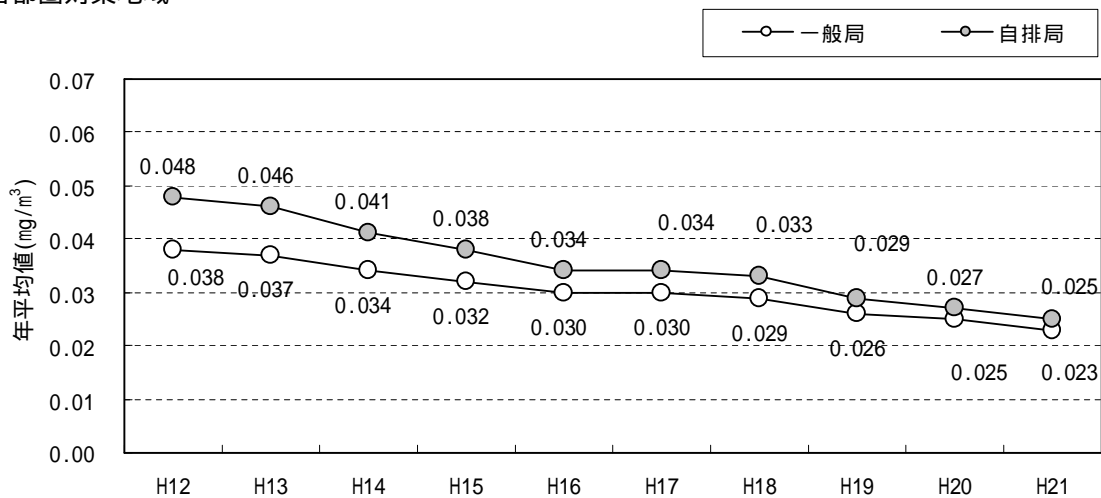


(自排局)

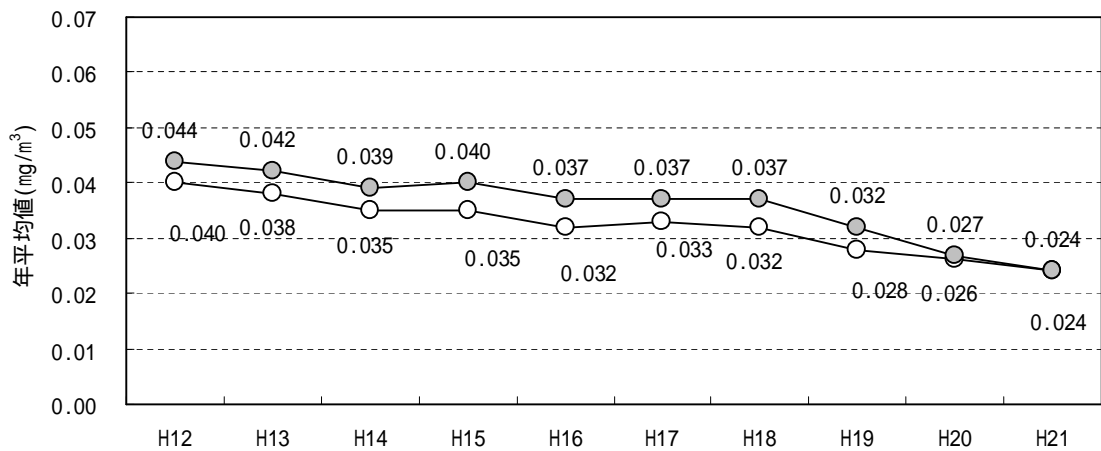


**資料6 - 5** 自動車NOx・PM法対策地域別浮遊粒子状物質の年平均値の推移  
(過去10年間の継続測定局の推移)

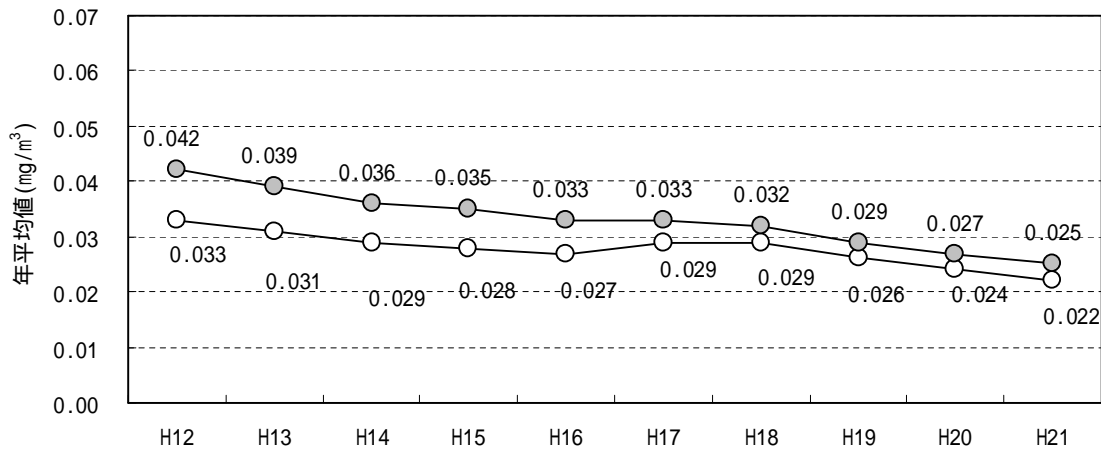
首都圏対策地域



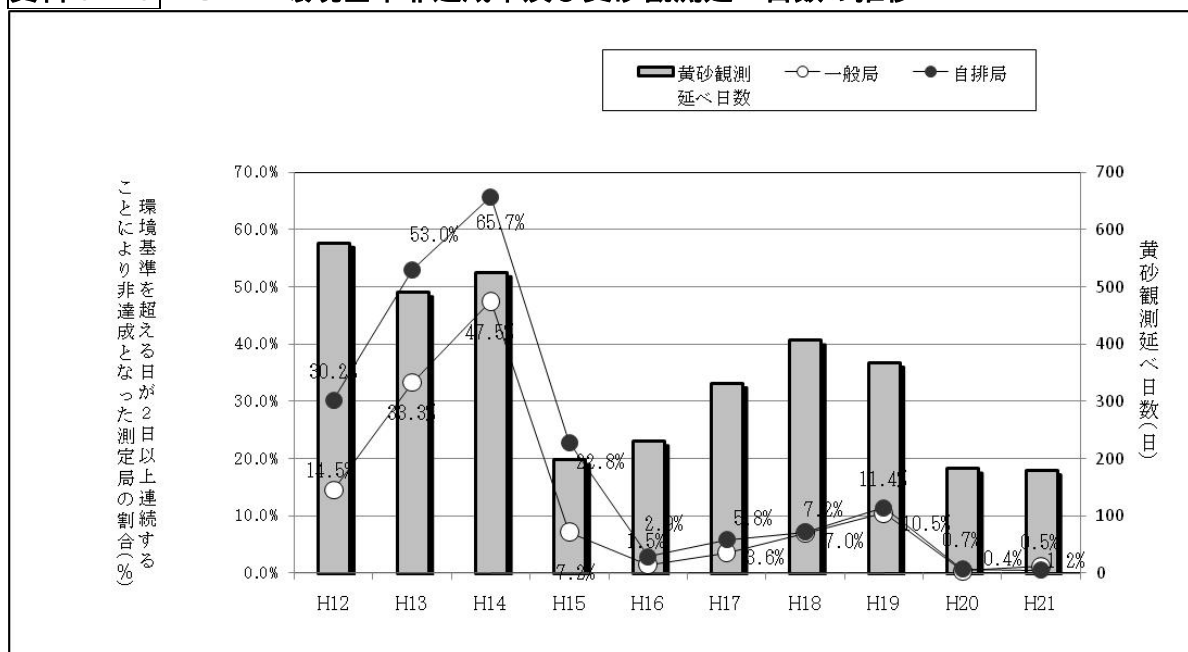
愛知・三重圏対策地域



大阪・兵庫圏対策地域



資料 6 - 6 SPM環境基準非達成率及び黄砂観測延べ日数の推移



年度	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	
有効測定局数	一般局	1,529	1,539	1,538	1,520	1,508	1,480	1,465	1,447	1,422	1,386
	自排局	301	319	359	390	409	411	418	412	403	406
環境基準非達成局数											
一般局	239 (15.6%)	514 (33.4%)	731 (47.5%)	110 (7.2%)	22 (1.5%)	54 (3.6%)	102 (7.0%)	152 (10.5%)	6 (0.4%)	16 (1.2%)	
自排局	102 (33.9%)	169 (53.0%)	236 (65.7%)	89 (22.8%)	16 (3.9%)	26 (6.3%)	30 (7.2%)	47 (11.4%)	3 (0.7%)	2 (0.5%)	
環境基準を超える日が2日以上連続したことによる非達成局											
一般局	221 (14.5%)	513 (33.3%)	730 (47.5%)	109 (7.2%)	22 (1.5%)	54 (3.6%)	102 (7.0%)	152 (10.5%)	6 (0.4%)	16 (1.2%)	
自排局	91 (30.2%)	169 (53.0%)	236 (65.7%)	89 (22.8%)	12 (2.9%)	24 (5.8%)	30 (7.2%)	47 (11.4%)	3 (0.7%)	2 (0.5%)	
環境基準を超える日が2日以上連続したことのみによる非達成局											
一般局	164 (10.7%)	449 (29.2%)	693 (45.1%)	100 (6.6%)	20 (1.3%)	49 (3.3%)	97 (6.6%)	140 (9.7%)	6 (0.4%)	16 (1.2%)	
自排局	33 (11.0%)	102 (32.0%)	165 (46.0%)	72 (18.5%)	8 (2.0%)	21 (5.1%)	26 (6.2%)	36 (8.7%)	2 (0.5%)	2 (0.5%)	
環境基準を超える日が2日以上連続、かつ1日平均値の年間2%除外値が0.1mg/m <sup>3</sup> を超過した非達成局											
一般局	57 (3.7%)	64 (4.2%)	37 (2.4%)	9 (0.6%)	2 (0.1%)	5 (0.3%)	5 (0.3%)	12 (0.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
自排局	58 (19.3%)	67 (21.0%)	71 (19.8%)	17 (4.4%)	4 (1.0%)	3 (0.7%)	4 (1.0%)	11 (2.7%)	1 (0.2%)	0 (0.0%)	
1日平均値の年間2%除外値が0.1mg/m <sup>3</sup> を超過したことのみによる非達成局											
一般局	18 (1.2%)	1 (0.1%)	1 (0.1%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
自排局	11 (3.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (1.0%)	2 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
黄砂観測延べ日数	576	490	525	197	230	331	406	367	182	179	

- ・黄砂の延べ観測日数：気象庁HPより（観測地点は全国61地点、年度単位で再集計）
- ・小数点以下の端数処理の関係で、内訳の合計値が合わないことがある。



**資料7** 光化学オキシダントの1時間値が昼間（5時～20時）において0.12ppm以上となった日数の多い測定局（一般局）

測定局	都道府県	市区町村	0.12ppm以上の日数	0.12ppm以上の時間数	0.06ppmを超えた日数	0.06ppmを超えた時間数
太田市中央小学校	群馬県	太田市	10	28	140	908
登美丘	大阪府	堺市	9	16	148	981
桐生市立東小学校	群馬県	桐生市	7	19	144	902
大宮	埼玉県	さいたま市大宮区	7	15	115	619
春里	埼玉県	さいたま市見沼区	7	13	129	702
片柳	埼玉県	さいたま市見沼区	7	13	120	676
さいたま市役所	埼玉県	さいたま市浦和区	7	16	121	681
駒場	埼玉県	さいたま市浦和区	7	13	132	738
西東京市田無町	東京都	西東京市	7	19	117	696
三日市公民館	大阪府	河内長野市	7	14	133	809

**資料8** 二酸化硫黄の環境基準非達成局（長期的評価）

一般局

測定局名	都道府県	市区町村	年平均値 (ppm)	1日平均値の年間2%除外値 (ppm)	1日平均値が0.04ppmを越えた日が2日以上連続したことの有無	環境基準
有村	鹿児島県	鹿児島市	0.039	0.220	有	非達成
赤水	鹿児島県	鹿児島市	0.008	0.064	有	非達成
黒神	鹿児島県	鹿児島市	0.005	0.050	有	非達成
鹿屋	鹿児島県	鹿屋市	0.004	0.034	有	非達成

自排局（非達成局なし）

**資料9** 大気汚染物質広域監視システム（愛称：そらまめ君）の概要

平成15年3月より全国47都道府県から情報提供を受け、ホームページ上で大気汚染状況を一時間ごとの速報値（測定機器の異常があった場合等は、後日修正されることもある値）で情報提供している。（提供している測定項目：二酸化窒素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント、二酸化硫黄、一酸化窒素、一酸化窒素、窒素酸化物、非メタン炭化水素、メタン、全炭化水素、風向、風速、気温、相対湿度、（測定局によっては測定を行っていない項目もある））

また、光化学オキシダント注意報・警報の発令状況もリアルタイムで情報提供している。

現在は、携帯電話端末からも光化学オキシダント注意報・警報発令状況及び、光化学オキシダント、二酸化硫黄の速報値を提供している。

URL:<http://soramame.taiki.go.jp/>（携帯電話端末用 <http://sora.taiki.go.jp/>）